

ユーザー登録申込書

迅速かつ正確なサポートを実施するために、ユーザ登録をお願いしております。
ユーザ登録により正式保証書を発行いたします。

インターネットで登録する 下記登録サイトにアクセスして登録してください。

https://www.avio.co.jp/support/regist_mp.htm

FAXで登録する 下記にご記入の上、FAXしてください。

FAX送付先：**045-930-3585**

お申し込み日	年	月	日	製品ご購入日(必須)	年	月	日
お買い上げ店名(必須)							
貴社名(必須)							
ご所属(必須)				役職			
ご担当者様名(必須)							印
郵便番号・ご住所(必須)	〒						
電話番号(必須)				FAX番号			
e-mail(必須)	@						
シリアル番号(必須)	iP-03U	本体に添付のシリアルナンバーをお貼りください					

個人情報の 保護について

前ページの「個人情報の保護について」をお読みください。
内容に同意くださる場合は同意するにチェックをつけてください。
本内容に同意くださらない場合は、申し訳ございませんが本サービスはご利用できません。
前ページの「個人情報の保護について」の内容を

☐ 同意する

☐ 同意しない

今後のご案内について

弊社および弊社グループ会社から、各種お知らせ（キャンペーン、展示会、セミナー等）やアンケート、製品やサービスのご案内をさせていただきます場合があります。

希望されない場合は「希望しない」にチェックしてください。

☐ ご案内を希望しない

 **日本アビオニクス株式会社**

お問い合わせ先

映像・情報福祉機器事業部 〒224-0053 神奈川県横浜市都筑区池辺町4206番地

カスタマーサポートセンター フリーダイヤル TEL 0120-175411

mailto: support_ip@avio.co.jp

営業本部 〒141-0031 東京都品川区西五反田8-1-5 五反田光和ビル

映像機器営業部 TEL (03)5436-0622

名古屋支店 〒460-0002 名古屋市中区丸の内3-17-6 ナカトウ丸の内ビル

TEL (052)951-2926 (代表)

大阪支店 〒532-0011 大阪市淀川区西中島1-11-16 住友商事淀川ビル

TEL (06)6304-7361 (代表)

福岡支店 〒812-0012 福岡市博多区博多駅中央街8-36 博多ビル

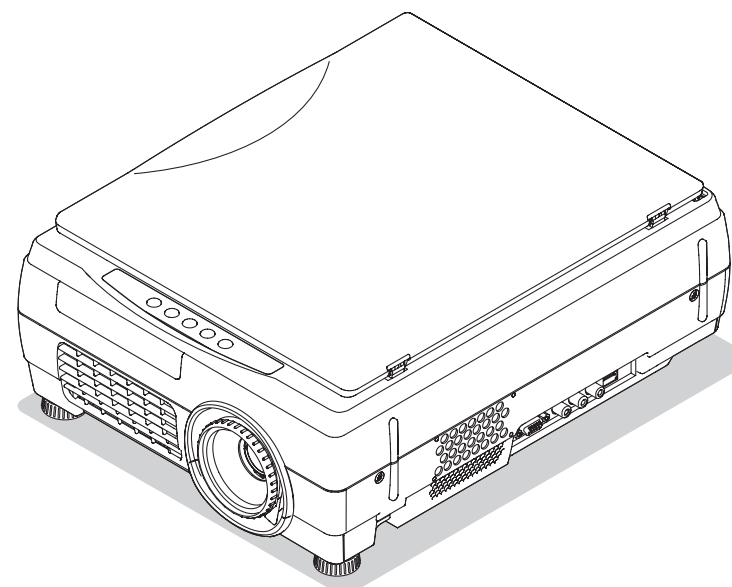
TEL (092)411-7371

●環境保護のため再生紙を使用しております。

7001320R01A ②



取扱説明書



プレゼンター・シミュレーション・ムービンを提供する

Intelligent
Projector

iP-03

日本アビオニクス株式会社

はじめに

このたびは、日本アビオニクス製品をお買い求めいただき、誠にありがとうございました。
ご使用前に、この取扱説明書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。
なお、お読みになった後は、大切に保管してください。

本機の特長

● とても便利な1台4役。マルチメディアプロジェクタの進化形

1. 資料やカタログなどの印刷物をそのまま投映。OHP専用フィルムを作成することなく、印刷物を直接投映できます。
2. パソコン画面を投映
パソコンを利用したキメ細かなプレゼンテーションができます。
3. ビデオやDVDなどの映像もそのまま投映。視覚に訴えかけるプレゼンテーションが実現できます。
4. USBメモリーを用いてPCレスでプレゼンすることができます。

● だれでも、わかりやすい簡単操作

印刷物、パソコン画面、ビデオ映像の投映は、ボタンひとつで簡単に切り換えることができます。

● コストパフォーマンスに優れた省資源設計

OHP専用フィルムの作成が不要ですので、ムダな時間や経費を削減できます。

● 表現力豊かなカラー画像

分解能の高い315万画素単板カラーCMOSカメラを内蔵。カラー原稿の微妙な中間色も、1677万色のフルカラーで忠実かつ鮮明に再現します。

● スクリーンサイズを変えずに拡大表示

カタログ、ワープロ原稿など、プレゼンテーション用に作成されていない小さな文字の資料を投映するときには、スクリーンサイズを変えずに原稿を拡大して、見やすく表示することができます。

● パソコン画面の圧縮、拡大表示機能搭載

解像度1024×768を超える画像は、文字が欠けることなく1024×768に圧縮して表示します。
また、640×480などの解像度の低い画面も、スクリーンサイズを変えずに全画面表示します。
※対応する解像度については、本書P.23をご参照ください。

● 環境にやさしいエコモード搭載

消費電力を節約するエコモードが初期設定されています。(p.45)
エコモードには、消費電力の節約以外にも冷却ファンの騒音が減少するメリットや、ランプ寿命が延びるというメリットがあります。

絵表示について

この取扱説明書と製品への表示は、重要なことからについて次の絵表示を使って注意を呼びかけています。
製品を安全に正しくお使いいただくために、絵表示と注意内容を理解した上で、取扱説明書をお読みください。



警告

この警告を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。



注意

この注意を無視して誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容、および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

絵表示の例



△の絵記号は、注意（警告含む）をうながす内容を示します。
図の中に、具体的な注意事項（左図では感電注意）が描かれています。



⊘の絵記号は、禁止されている行為を示します。



⊘の絵記号は、禁止されている行為を示します。
図の中に、具体的な禁止内容（左図では内部に手を触れない）が描かれています。



●の絵記号は、強制や指示される行為を示します。
図の中に、具体的な指示内容（左図では電源プラグをコンセントから抜く）が描かれています。

使用上のご注意（必ず守ってください）



警告

本機のご利用にあたって



- 本機は、大人の方が使用されることを想定しております。特に中学生以下のお子様が使用される場合は、危険防止のため必ず大人が付き添っての使用をお願いいたします。

故障したときは



電源プラグをコンセントから抜く

- 本機から煙が出たり、変なおいや音がするときには、すぐに電源プラグをコンセントから抜いてください。故障したまま使用を続けると危険です。お買い求めになった販売店に修理を依頼してください。

内部に異物が入らないよう配慮を



- 通風口などから内部に金属片や燃えやすいものが入らないように注意してください。
- 水の入った容器を本機の上やそばに置かないでください。

内部に異物が入ったときは



電源プラグをコンセントから抜く

- 万一、水や金属片などの異物が本機の内部に入ったときは、すぐに電源プラグをコンセントから抜いてください。そのまま使用を続けると危険です。お買い求めになった販売店に点検を依頼してください。

本体を分解しない



- 本体を分解しないでください。内部には一部電圧の高いところがあり、触れると感電・故障の原因になります。

電源コードはたいせつに



- 電源コードの上に重いものを置かないでください。コードに傷がついて、断線・火災・感電などの原因になります。
- 電源プラグを抜くときは、コードをひっぱらないでください。コードをひっぱるとコード内部で断線することがあり、火災・感電などの原因になります。必ずプラグ部分をつかんで抜いてください。



電源コードが傷んだら販売店より新規ご購入を

- 傷んだ電源コード（芯線の露出・断線等）は、使用しないでください。そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。新しい電源コードを販売店よりご購入ください。

レンズをのぞかない



- 投映中はレンズをのぞかないで下さい。強力な光のため、視力障害などの原因となります。

高温注意



- 点灯中や消灯直後は、排気口や周囲の表面が熱くなります。手や顔を近づけたりしないで下さい。熱でやけど、けがの原因となることがあります。また、熱に弱い素材のテーブルやデスクマットの上に置かないで下さい。
- プロジェクタの排気口付近は大変熱くなりますので、熱に弱い素材のテーブルやデスクマットの上に置かないでください。



警告

レンズの前をふさがない



- ランプの光源が非常に強力なため、レンズ付近の投映光に近づいたり、故意に物体を近づけると大変危険です。熱に弱い素材や布、紙、ファイルなどを絶対に近くに置かないでください。恒温になり破損や、火災などを引き起こし、またやけどなどの原因となります。
- 投映中は必ずレンズキャップを外してください。レンズキャップが変形する恐れがあります。

表示以外の電圧で使用しない



交流 100 ボルト以外使用禁止

- 表示された電源電圧（交流 100 ボルト）以外での電圧で使用しないでください。火災・感電の原因となります。

ガラス面に衝撃を与えない



- 資料読み取り部のガラス面は、衝撃を与えないよう注意してください。場合によっては、ガラスが割れてけがの原因となります。

本機の上に乗らない・重い物を置かない



- 破損・故障の原因となりますので本機の上に乗ったり、重い物（2kg以上）を載せないでください。また、ガラス面の一部に重さが集中するものは載せないでください。場合によっては、ガラス面が割れてけがの原因となります。

通風口に顔を近づけない



- ランプが破裂したときに粉塵やガスに含まれる水銀が目や口に入る場合がありますので、通風口に顔を近づけないでください。けがの原因となることがあります。（目に異物が入った場合は、お近くの病院の診察をお受けください。）

不安定なところには置かない



不安定な設置禁止

- ぐらついた台の上や傾いた所など、不安定な場所に置かないでください。落ちたり、倒れたりしてけがの原因となります。



水平設置以外では点灯させない

- 装置を水平以外の逆さま・上向き・横向き・下向きの状態で点灯させないでください。火災やランプ破裂の原因となることがあります。

注意

設置場所について



- 次のような場所での使用はお避けください。
 - ・ 熱に弱い材質のテーブルまたはデスクマットの上
 - ・ 強い振動や衝撃が加わる場所
 - ・ 油煙や湯気があたる場所
 - ・ 直射日光があたる場所、熱器具などの近くで熱くなる場所（35℃以上）
 - ・ 湿気やほこりの多い場所
 - ・ 冷え込む場所（5℃以下）
 - ・ 強力な磁界、電界を発生するものの近く
 - ・ ぐらついたり、ゆれたりする不安定な場所



- 設置環境（壁際や空調排気など）によっては、前面から排気された熱風が陽炎となり、投映画像が揺らぐことがあります。

通風口をふさがない



- 布やものなどで通風口をふさがないでください。
本機のまわりにものを置くときは、通風口との間に10cm以上のすきまをあけてください。本体側面の通風口に紙や布などが吸い付かないようにしてください。内部の温度が上昇し、動作が異常になることがあります。

強い衝撃を与えない



- 持ち運びや取り扱い時に、強い衝撃を与えないでください。故障の原因になります。

お手入れについて



電源プラグをコンセントから抜く

- 万一の事故を防ぐため、お手入れの際は電源プラグをコンセントから抜いてください。



- レンズの表面は、市販のブロワーやレンズクリーニングペーパーを使ってお手入れしてください。
ティッシュペーパーやハンカチなどでふくと、レンズを傷つける原因になります。

- キャビネット、操作パネル部分、ガラス面の汚れは、柔らかい布で軽くふいてください。特に汚れがひどいときは、水でうすめた中性洗剤を柔らかい布に含ませてからよく絞ってふきとり、乾いた布でからぶきしてください。



- ベンジン、シンナーなどの揮発性の薬品で本機をふかないでください。
表面が変質したり、表示がはがれたりすることがあります。化学ぞうきんを使用するときは、その注意書きにしたがってください。

ガラス面を傷つけない



- 資料読み取り部のガラス面を、固いものや鋭利なものでこすらないでください。
ガラス面に傷がつくと投映映像が悪くなる場合があります。

電池について



プラス⊕とマイナス⊖の向きを間違えないように

- 電池をリモコンに入れる場合、極性表示（プラスとマイナスの向き）に注意し、機器の表示通り正しく入れてください。間違えますと電池の破裂・液漏れにより火災・けがや周囲を汚損する原因となることがあります。



指定されていない電池は使用禁止

- 機器で指定されていない電池は使用しないでください。
電池の破裂・液漏れにより火災・けがの原因となります。



- 電池を、加熱したり、分解したり、火や水の中に入れないでください。電池の破裂、液もれにより、火災、けがの原因となることがあります。

結露について



- 急激に温度差の大きい場所へ本機を移動させると本体に水滴が付着（結露）します。
結露の状態での投映は故障の原因となります。

注意

点検・清掃について



内部の掃除は販売店で

- 一年に一度を目処に、内部の掃除を販売店などにご相談下さい。
内部の掃除は、湿気の多くなる梅雨期の前に行なうとより効果的です。
長い間掃除をしないと本機の内部にほこりがたまり、火災や故障の原因となることがあります。
内部掃除費用につきましては販売店などにご相談下さい。

長期間使わないとき



電源プラグをコンセントから抜く

- 長期間お使いにならないときは、安全のため電源プラグをコンセントから抜いてください。

廃棄について



- 本機やランプユニットの廃棄については各自治体の廃棄方法に従ってください。

輸送について



- 本機を輸送する場合は必ず専用の梱包箱を使用してください。他の梱包箱を使用され破損等の事故がおきましても当社は責任を負いかねます。
- 専用の梱包箱は繰り返し使用すると緩衝効果が減少し、本機の破損等の事故につながりますので繰り返し使用は2回までとしてください。
また、使用済の梱包箱の廃棄は各自治体の廃棄方法に従ってください。
- チルトフットは完全に収納してから輸送してください。
- 運搬用収納ケースが必要となった場合は販売店にご相談ください。

ランプの破裂について

- 本プロジェクトでは、高圧水銀ランプを採用しておりますが、ごくまれに使用中に破裂することがあります。破裂に至るまでの時間は高圧水銀ランプの個体差や使用条件によって大きな差があり、使用開始後すぐに破裂することがあります。また、2000時間を超えると、破裂の確率が高くなるため、強制的にランプを消灯するようにしています。(48、49ページ参照)



下記の事項にご注意願います！

- ランプが破裂すると、大きな音がする場合があります。これは、高圧水銀ランプ内の圧力が非常に高いために生じます。
その際、ランプ破裂によるガラスなどの粉塵が、通風口から外に出る恐れがあります。
ご使用の際は、通風口周辺(装置前面、左側面、真後ろ)に顔を近づけないでください。
- ランプが破裂すると、ランプ内のガスが通風口から外に出て白い煙のように見えますが、これは発熱や発火により発生したものではありません。但し、ランプ内のガスには水銀が含まれていますので、破裂した場合は窓や扉を開ける等の処置を行ってください。また、万一、ガスを吸い込んでしまった場合には、速やかに医師にご相談ください。

処置

- ご使用中にランプが破裂した製品は、ランプ破片が製品内部に散乱している可能性がありますので、ランプ交換せずに、ご購入時の販売店、代理店等に修理をご依頼ください。ランプが破裂した場合、お客様によるランプ交換はおやめください。ランプ破片等によりけがの原因となります。

ランプ交換について



- 動作中や停止直後にランプユニットを交換すると高温のため、やけどの原因となることがあります。
ランプユニットの交換は、ランプを消灯し、冷却ファン停止後、電源プラグをコンセントから抜き、1時間以上経ってから行なってください。
ランプユニットの交換手順につきましては48ページ「ランプユニットの交換」をお読みください。
- ランプユニットの廃棄については一般家庭用の蛍光灯と同分類とし各自治体の廃棄方法に従ってください。

注意

吸・排気口の清掃について



- 吸・排気口を清掃するときは、冷却ファン停止後、電源プラグをコンセントから抜いて行なってください。冷却ファン回転中に取りはずすと、けがの原因となることがあります。吸・排気口の清掃手順につきましては51ページ「吸・排気口の清掃」をお読みください。

次のようなところは故障・事故の原因



- プロジェクタを水平に調節するときは本体が傾かないように脚（チルトフット）を調節してください。傾いた状態で使用すると本体が転倒してけがの原因となることがあります。調整手順につきましては26ページ「チルト（傾斜）を調整する」をお読みください。

次のようなことはしない



禁止

- プロジェクタの上に重いものを置かないでください。
- プロジェクタやプロジェクタの置かれている台またはスタンドにのらないでください。またプロジェクタにつかまったり、ぶらさがったりしないでください。倒れたり、こわれたりしてけがの原因となることがあります。特に、小さなお子様のいるご家庭や場所ではご注意ください。
- キャスター付き台にプロジェクタを設置する場合にはキャスター止めをしてください。動いたり、倒れたりしてけがの原因となることがあります。
- ランプのON、OFFは時間（1分以上）をおいてから行なってください。電源を入れた直後はランプに非常に高い電圧がかかります。そのためランプのON、OFFを短時間に繰り返すとランプの劣化および破損・プロジェクタの故障の原因となります。
- レンズキャップをしたままの映像投映は行わないでください。
- フォーカス調整リングをつかんで持ち上げたりしないでください。故障や破損の原因となります。
- 電源コードを本体から抜いた後、再び挿入するまで5秒以上の間隔をあけてください。

持ち運びについて



- 据置きでのご使用を想定しております。
 - ・ 本体取手を持って移動する場合は、ガラス面に注意し持ち運んでください。また、本体は水平となるように置いてください。
 - ・ 資料カバーは十分に差し込まれていないと持ち運びの際、外れる場合があります。
 - ・ 振り回したり、乱暴な取扱いは避けてください。

電源コード・電源プラグについて



熱器具を近付けない

- 電源コードを熱機具に近付けないでください。コードの被覆が溶けて、火災・感電の原因となることがあります。



濡れた手は危険

- 濡れた手で電源プラグを抜き差ししないでください。感電の原因となることがあります。



アース接続

- 必ずアース接続を行ってください。アース接続は必ず、電源プラグをコンセントにつなぐ前に行ってください。アース線はアース端子以外に接続又は挿入しないでください。また、アース接続を外す場合は、必ず電源プラグをコンセントから切り離してから行ってください。



移動するときは接続線ははずしてから

- 移動させる場合は、必ず電源プラグをコンセントから抜き、機器間の接続ケーブル、盗難防止用ロックをはずしたことを確認の上、行なってください。接続したまま移動させるとコードに傷が付き、火災・感電の原因となることがあります。
- 電源コードは、付属の電源コードを使用してください。付属以外の電源コードを使用すると、火災・感電の原因となることがあります。

光源ランプ及びその他の光学部品について

- 光源ランプやファン、カラーホイールなどの光学部品は定期的な交換が必要となる部品（定期交換部品）です。長時間（毎日5時間以上）連続で使用されると一年未満のご使用でもそれらの交換が必要になる場合があります。また、たばこの煙、ほこりの多い場所でのご使用は、定期交換部品の交換サイクルを早めるおそれがあります。詳しくはカスタマーサポートセンターにお問い合わせください。

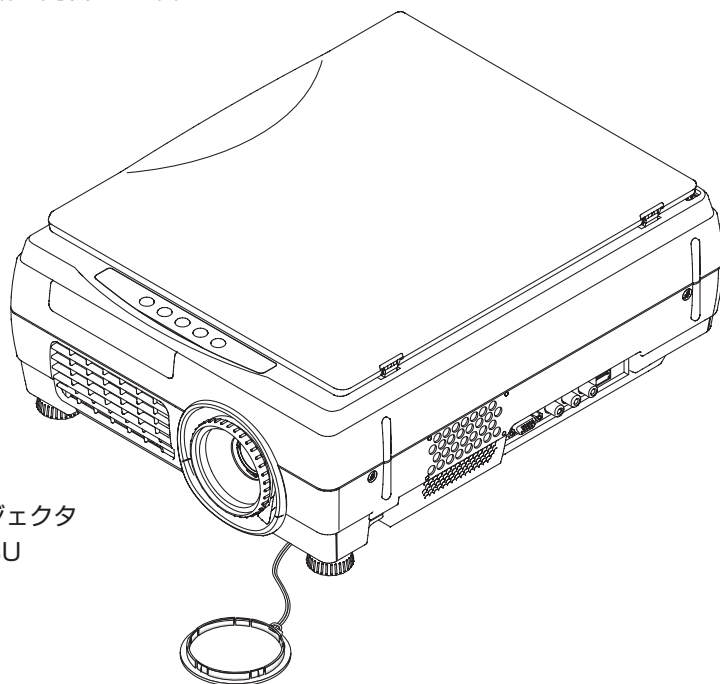
目次

使用上のご注意 (必ず守ってください)	5	OHP 操作の方法.....	35
添付品や名称の確認.....	11	資料カバーの取付け.....	35
添付品の確認	11	投映原稿の準備	35
各部の名称とはたらき (本体)	12	投映原稿の読み取りサイズ	35
各部の名称とはたらき (入力端子部)	14	メニューの構成.....	36
各部の名称とはたらき (操作パネル)	15	メニューの操作方法.....	37
各部の名称とはたらき (リモコン)	16	メニュー操作で使うボタンの名称とはたらき	37
リモコンの操作について	17	メニュー各部の名称とはたらき	37
電池の交換のしかた.....	17	メニューの操作方法.....	38
投映までの手順.....	18	メニュー説明	40
投映距離と画面サイズ.....	19	ポインタ・画面設定.....	40
パソコンとの接続.....	20	履歴メニュー	41
基本的な接続	20	映像調整	42
パソコンと接続する	20	設置設定	44
パソコン入力端子について	21	保守.....	46
パソコン画面の映像が投映されない場合	22	異常保護	46
入力信号対応表	23	ランプユニットの交換.....	48
映像機器 (ビデオ・DVD プレーヤー等) との接続	24	吸気口／排気口の清掃.....	51
電源コードの接続と入／切	25	故障かな…と思ったら	52
電源を入れる	25	保証と修理サービス.....	53
電源を切る	25	仮保証書	55
投映画面の調整.....	26	仕様.....	56
投映画面を調整する	26	ユーザー登録のご案内	59
フォーカス／ズーム調整をする	26	ユーザー登録申込書.....	裏表紙
チルト (傾斜) を調整する	26		
通常の操作	27		
入力を選ぶ	27		
投映画面の向きを変える	27		
投映画面を拡大／縮小する	28		
明るさを調整する.....	29		
投映画面を取り込む／静止画表示にする	30		
内蔵メモリーやUSBメモリーの画像を使って プレゼンテーションを行う	31		
音量を調整する	33		
ポインターを表示する.....	34		
投映画面と音声を消す	34		

添付品や名称の確認

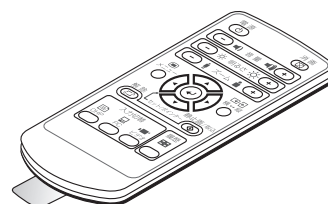
添付品の確認

添付品の内容をご確認ください。



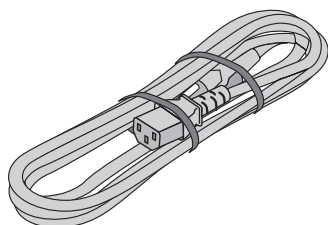
プロジェクタ
iP-03U

レンズキャップ

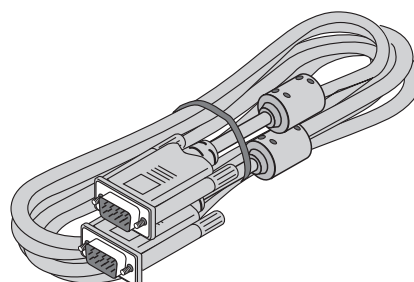


シートを抜いて使用してください

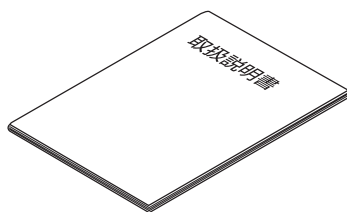
リモコン
コイン型リチウム電池：CR2025
(リモコンに内蔵)



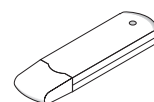
電源コード (3m)



PC 接続ケーブル (2m)

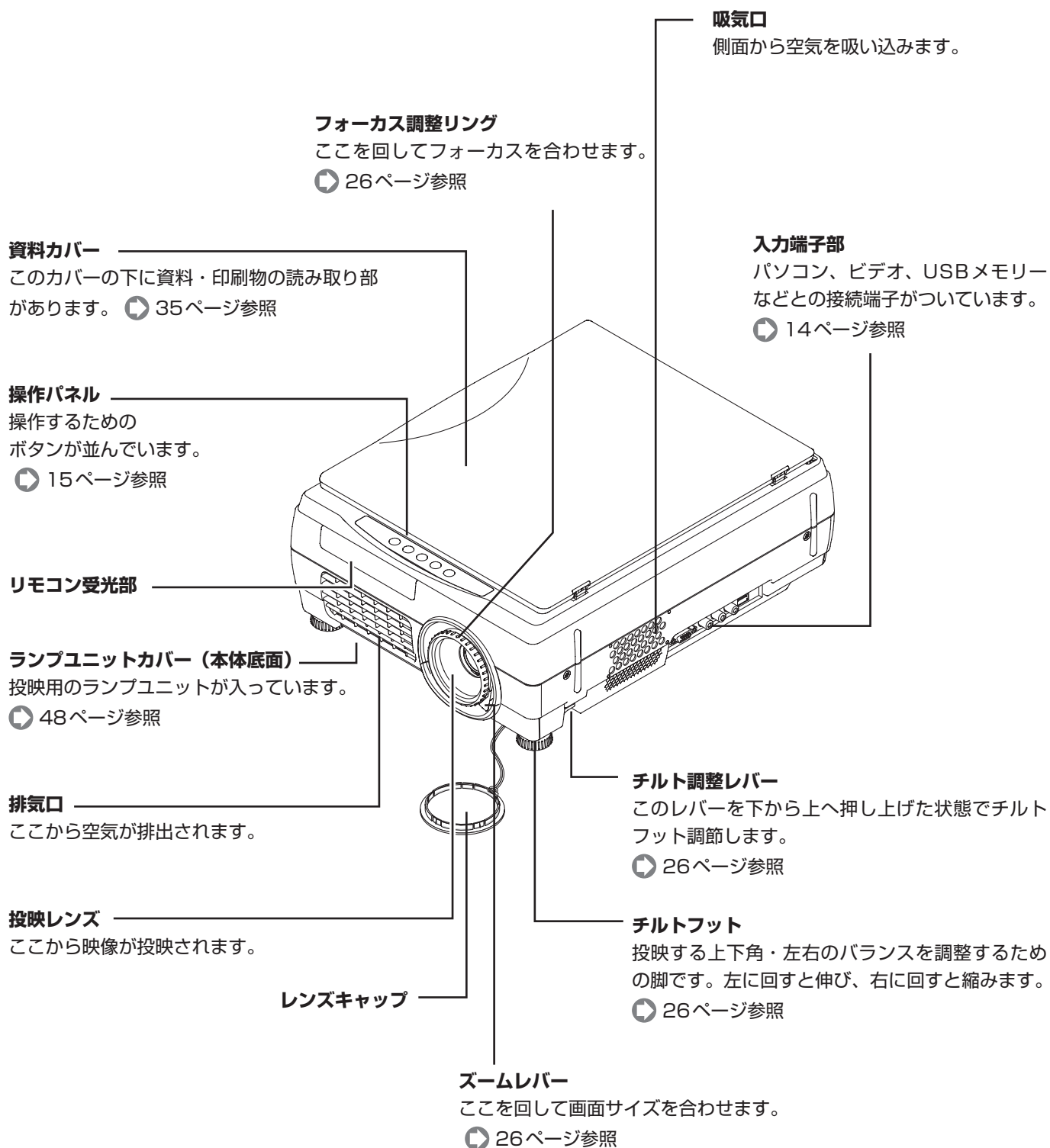


iP-03 取扱説明書 (本書)



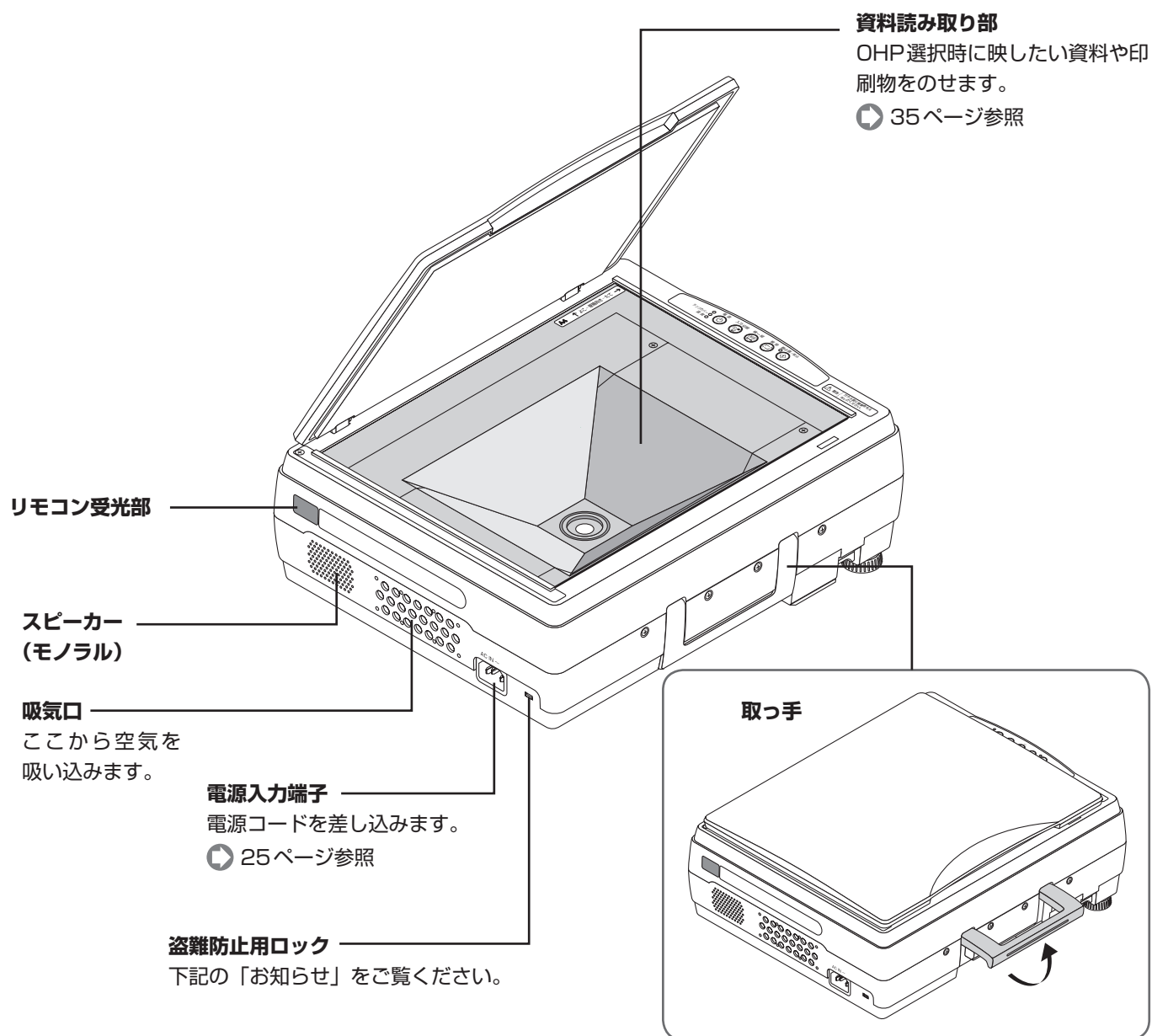
USB メモリー

各部の名称とはたらき（本体）



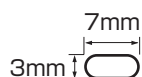
注意

- 本機の動作中は、レンズの前をふさがないでください。動作中はレンズを通して強い光が投影されており、レンズ前を物や手でふさぐと、火災ややけどの原因となります。
- 投影中は必ずレンズキャップを外して下さい。レンズキャップが変形する恐れがあります。
- ランプが破裂した際に、ガラスなどの粉塵が通風口から外に出る可能性がありますので、排気口、及び吸気口には顔を近づけないでください。



お知らせ

盗難防止ロックについて



盗難防止用ロックは、スマートケーブルロック等のセキュリティワイヤーに対応しています。製品についての連絡先は、以下のとおりです。

日本ポラデジタル株式会社

〒113-0034 東京都文京区湯島2-16-10 MASSビル

Tel : 03-6801-2331 Fax : 03-6801-2330

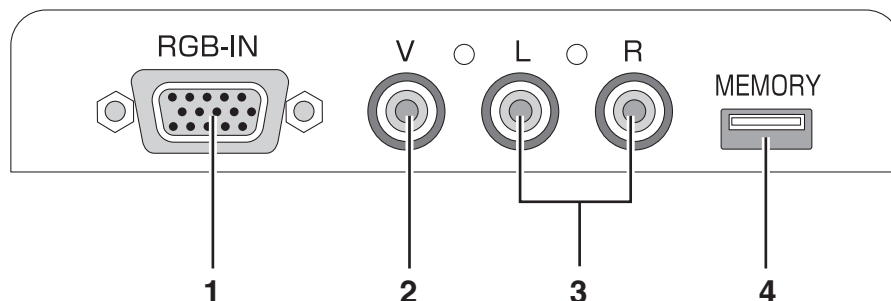
<<http://www.poladigital.co.jp/>>



注意

- ・ランプが破裂した際に、ガラスなどの粉塵が通風口から外に出る可能性がありますので排気口、及び吸気口には顔を近づけないでください。

各部の名称とはたらき（入力端子部）



1. パソコン／ビデオ（D端子出力）映像入力端子

パソコンのアナログRGB用の入力端子またはビデオのD端子出力をRGB変換ケーブル（オプション）で接続する場合の入力端子です。

➡ 20、24ページ参照

2. ビデオ映像入力端子

ビデオ（NTSC/PAL/SECAM）用の入力端子です。

➡ 24ページ参照

3. PC/ビデオ音声入力端子

PC/ビデオ用の音声入力端子です。（ステレオ対応）
PCの音声を出力する場合は、ステレオミニプラグーRCAステレオ変換ケーブル（市販品）をご利用ください。

➡ 20、24ページ参照

お知らせ

モノラルスピーカーからL+Rの音が出ます。
音声が入力されていると、PC/VIDEOモードにかかわらず音が出ます。（OHPモードでは音は出ません。）

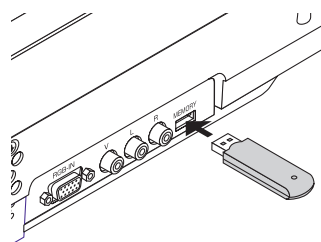
4. USB端子

USBメモリー挿入用の端子です。

●USBメモリーの抜き差し

USBメモリーをセットする

USB端子に真っ直ぐ、奥まで挿し込んで下さい。
※ USBメモリー以外を挿入しないでください。



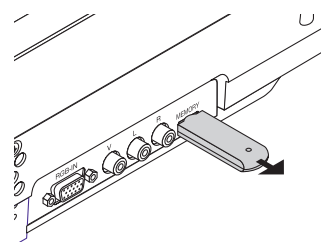
USBメモリーを外す

※ OHP以外に入力を切り替えてから抜き取ってください。

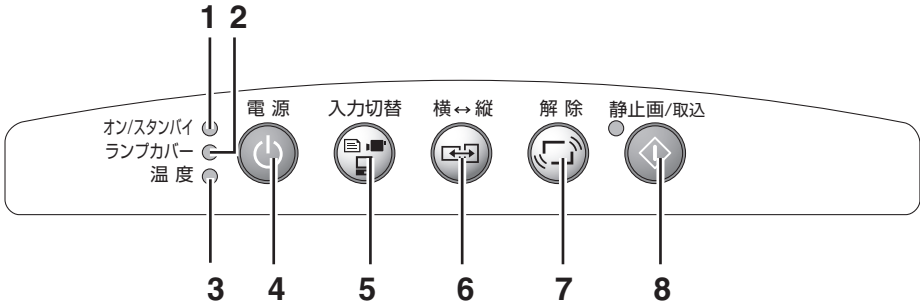
お知らせ

動作確認済USBメモリーは、当社ホームページをご参照ください。

<http://www.avio.co.jp/support/mp/index.htm>



各部の名称とはたらき（操作パネル）



1. オン/スタンバイLED

スタンバイ時に赤色に点灯、ランプ点灯時に緑色に点灯します。 ➡ 25 ページ参照

2. ランプ/カバー LED

投映中は緑色に点灯します。ランプユニットカバーがはずれているときに赤色に点灯します。

- ・ ランプ点灯動作時はおよそ6秒の緑点滅後、緑点灯します。
- ・ ランプ点灯失敗時、緑点滅します。(消灯時の点滅間隔は、他の点滅時よりも長くなります。)
- ・ ランプ消灯時はクーリング時間中緑点滅します。
- ・ ランプ使用時間が1900時間を超えている場合は赤色点滅、2000時間を超えている場合は赤色点灯します。

➡ 46 ページ参照

3. 温度アラームLED

内部温度が上がりすぎたとき10秒間の赤色点滅後、赤色点灯します。 ➡ 46 ページ参照

4. 電源ボタン

本機の電源を入/切（スタンバイ状態）します。
※ 投映ランプが消灯しているとき、このボタンのみが有効です。
➡ 25 ページ参照

5. 入力切替ボタン

入力ソースを切り替えます。
OHP → PC → VIDEO または OHP → VIDEO (D4) → VIDEO の方向で入力が切り替わります。
➡ 27 ページ参照

6. 横↔縦ボタン

OHP選択時：投映画面の向きを0°と90°に切替えます。
(メニューより、90°ごとに360°回転する設定にすることが出来ます。)
➡ 27 ページ参照

7. 解除ボタン

静止画の状態を解除します。
原稿を動かしながら投映画面を確認するときに使用します。
➡ 31 ページ参照

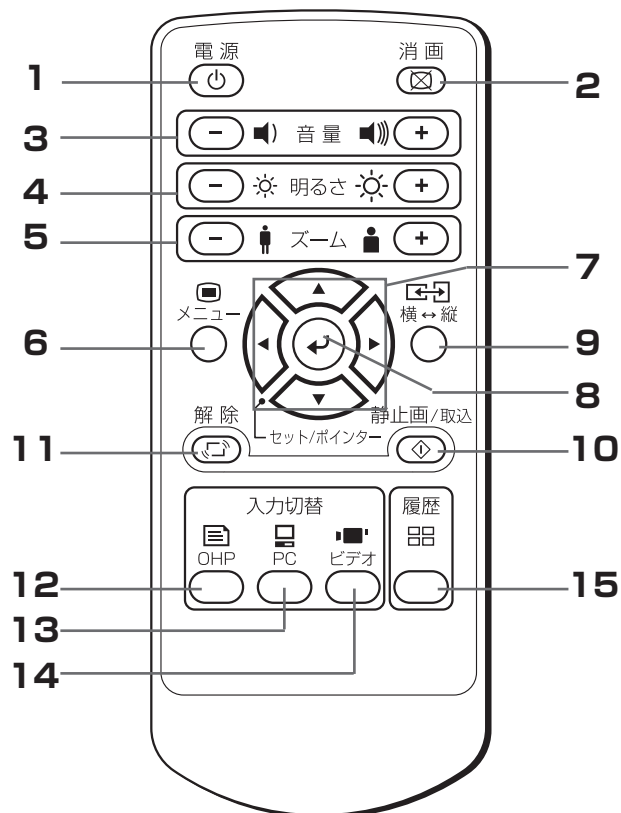
8. 静止画/取込ボタン

投映画面が静止画となります。
OHP選択時は履歴画像として、内部メモリー又はUSBメモリーに保存されます。
➡ 30 ページ参照

LED一覧表

LED 状態			お知らせ内容	
オン/スタンバイ	ランプ/カバー	温度		
消灯	消灯	消灯	AC 電源 OFF	正常な状態
赤	消灯	消灯	スタンバイ	
緑	緑点滅	消灯	スタンバイ～投映開始	
緑	緑	消灯	投映終了～スタンバイ	
赤	赤	消灯	投映中	アラームにより電源を OFF した状態
赤	赤点滅	消灯	ランプカバーオープン	
赤	赤点滅	消灯	ランプ失灯	
赤	赤点滅	消灯	ランプ使用2000時間超過	
赤	橙	消灯	装置内部異常	
赤	消灯	赤	温度異常	アラーム警告中
赤	消灯	赤	ファン異常	
緑	赤点滅	消灯	ランプ使用1900時間超過	
緑	緑	赤点滅	温度異常警告	

各部の名称とはたらき（リモコン）



1. 電源ボタン

本機の電源を入／切（スタンバイ状態）します。
※投映ランプが消灯しているとき、このボタンのみが有効です。
➡ 25 ページ参照

2. 消画ボタン

ランプを消灯せずに、投映画面を一時的に消します。もう一度押すと、すぐに画面が復帰します。
➡ 34 ページ参照

3. 音量ボタン

PC 選択、ビデオ選択時の音量調整を行います。
また、履歴一枚表示の時に、音量ボタン+でページ送り、音量ボタン-でページ戻り動作します。
➡ 33 ページ参照

4. 明るさボタン

投映画面の明るさ調整を行います。
➡ 29 ページ参照

5. ズームボタン

投映画面の倍率調整を行います。
➡ 28 ページ参照

6. メニューボタン

メニュー画面の表示／非表示を行います。
➡ 37 ページ参照

7. スクロール▲▼◀▶ ボタン

メニュー画面で、項目の選択や調整値の設定をします。
ズーム表示しているときは、ズーム位置を移動します。
ポインターを表示しているときは、ポインターを移動します。
➡ 28, 29, 31, 34 ページ参照

8. セット/ポインターボタン

メニュー表示中は、次の階層のメニューへ進みます。
項目選択時は決定を行います。
➡ 36 ページ参照
メニュー画面が表示されていない時はポインターを表示します。もう一度押すとポインターは消えます。

9. 横↔縦ボタン

OHP 選択時：投映画面の向きを0°と90°に切替えます。
(メニューより、90°ごとに360°回転する設定にすることが出来ます。)
➡ 27 ページ参照

10. 静止画/取込ボタン

投映画面が静止画となります。
OHP 選択時は履歴画像として、内部メモリー又はUSBメモリーに保存されます。
➡ 30 ページ参照

11. 解除ボタン

静止画の状態を解除します。
原稿を動かしながら投映画面を確認するときに使用します。
➡ 30 ページ参照

12. OHP ボタン

OHP 入力に切り替えます。
➡ 27 ページ参照

13. PC ボタン

PC 入力に切り替えます。
➡ 27 ページ参照

14. ビデオボタン

ビデオ入力に切り替えます。
➡ 27 ページ参照

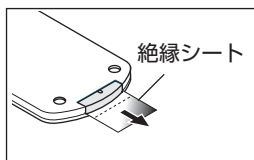
15. 履歴ボタン

取り込んだ静止画をサムネイルで表示します。
➡ 31 ページ参照

リモコンの操作について

- リモコンは本機のリモコン受光部（前と後にあります）から約7m、左10°／右10°の範囲でお使いください。ただし、電池の消耗により距離は短くなります。
- リモコンと本体のリモコン受信部の間に障害物があるとリモコンは動作しません。

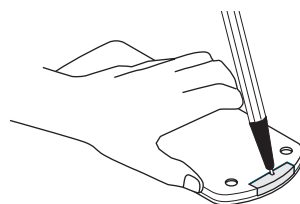
電池の交換のしかた



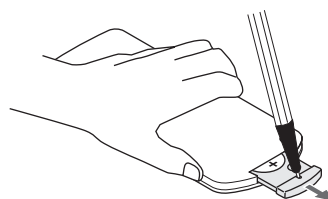
● はじめてご使用になる場合

出荷の際には輸送用絶縁シートを挟んでいます。
シートを引き抜いてご使用ください。

- 1 リモコンを手でしっかり固定し、裏面の穴にボールペン等、細い棒を差し込みます。
ただし、千枚通しなど先のとがったものを使用すると、ケースを傷つけるおそれがあります。



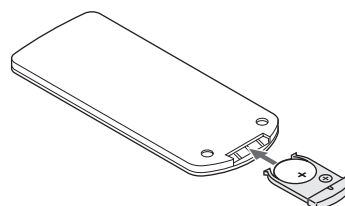
- 2 細い棒を上から押しながら、そのまま手前に引いて電池ホルダーを取出します。



- 3 ケース内部の表示通りに新しい電池（CR2025）の+側を上向きにして入れます。



- 4 電池ホルダーを元に戻します。



注意

リモコンの取り扱い

- ・机から落とすなど強い衝撃を与えないでください。破損し動作しなくなる場合があります。
- ・水などをかけないでください。かかった場合はすぐふき取ってください。
- ・熱や湯気をさけてください。長期間使用しないときはコイン型リチウム電池を取り出してください。
- ・コイン型リチウム電池を分解、加熱、火の中へ投入しないでください。
- ・使用済みのコイン型リチウム電池は、各自治体の廃棄方法にしたがってください。
- ・インバータ機器が近くにある場合、リモコンが動作しないことがあります。
- ・インバータタイプの蛍光灯をお使いの場合、リモコンが動作しない、または効きが悪くなる場合があります。
- ・コイン型リチウム電池は幼児の手の届かないところに保存してください。万一、飲み込んだ場合はただちに医師の診断を受けてください。
- ・リモコンでしかできない操作がありますので、取り扱いには注意してください。

お知らせ

電池を取り換える時は、コイン型リチウム電池「CR2025」をお買い求めください。CR2032等形状の異なるものを使用すると電池の破裂・液漏れにより火災・けがの原因となることがありますのでおやめ下さい。

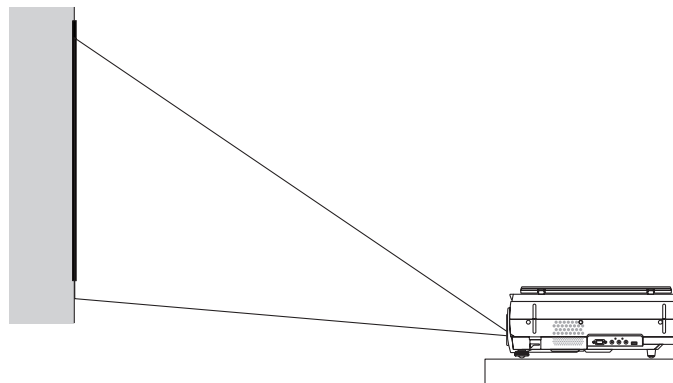
投映までの手順

1 設置場所と画面サイズの検討

スクリーンおよびプロジェクタの設置場所を決めます。

水平で安定した丈夫な台の上に設置します。

投映距離と画面サイズについては🔗 19ページ参照



2 入力機器と接続する

お手持ちのパソコン／映像機器と接続します。

パソコンと接続する🔗 20ページ参照

映像機器と接続する🔗 24ページ参照

3 電源コードを接続し、電源を入れる

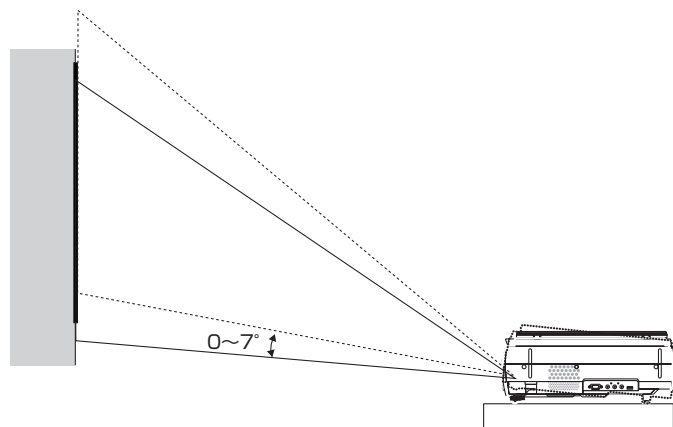
電源を入れる🔗 25ページ参照

電源を切る🔗 25ページ参照

4 パソコンや映像機器の電源を入れる

5 投映画面をスクリーンに正しく合わせる

🔗 19ページ参照



投映したい高さに本機のチルト調整をする

チルト調整をすると投映画面位置を上下できます。調整角度は $0^{\circ} \sim 7^{\circ}$ です。

チルト調整🔗 26ページ参照

6 入力機器を選択する

🔗 27ページ参照

7 画像や映像を調整する

必要に応じて最適な状態に調整してください。

🔗 44、45ページ参照

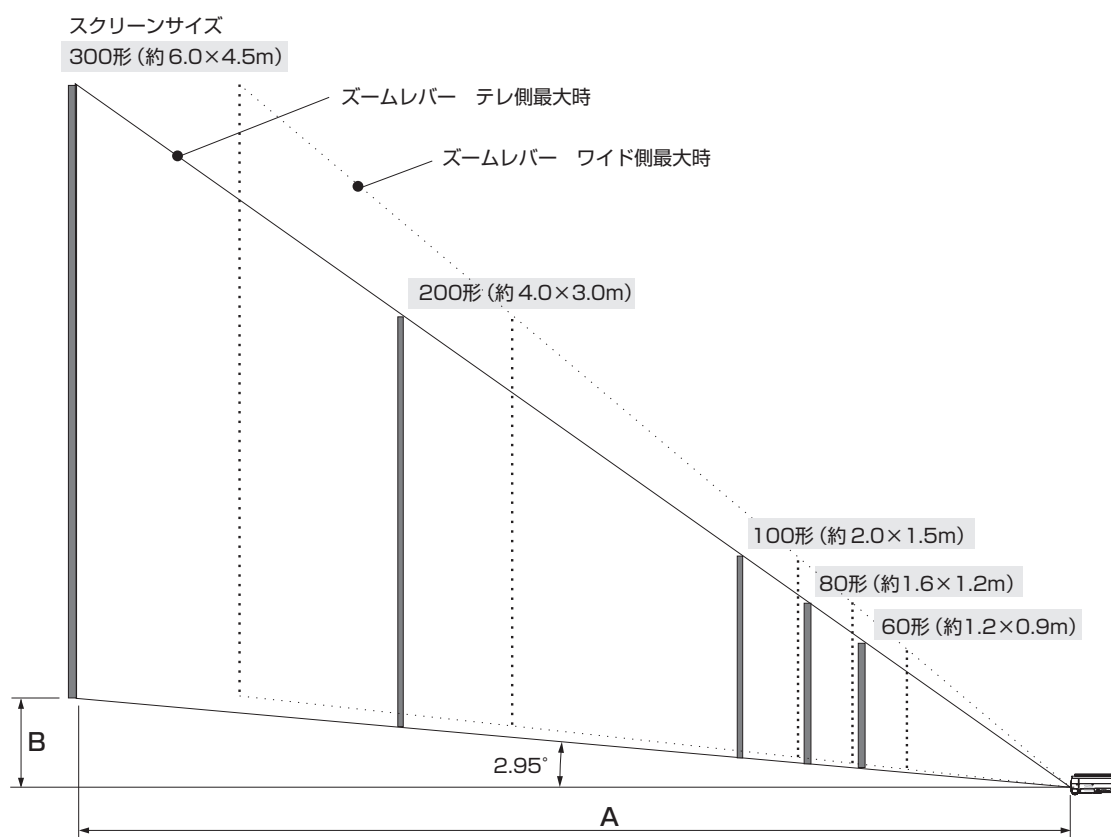
お知らせ

品質については厳格に審査を行っておりますが、DLP®方式のプロジェクタにおいては、ごくまれに画素の中に黒点、または輝点が存在することがございます。これらは故障ではありませんので、あらかじめご了承ください。

投映距離と画面サイズ

設置する場所によって、どのくらいの画面サイズになるか、また、どのくらいのスクリーンを用意すればよいかの検討にお使いください。

フォーカス（焦点）の合う投映距離は、レンズ前面から 1.30m ～ 10.96m です。この範囲で設置してください。



投映距離表

スクリーンサイズ (inch) 対角	スクリーンサイズ	A：投映距離 (m)		B：投映下端の 高さ (mm)	スクリーン 高さ (mm)
		ワイド	テレ		
300	6.0 × 4.5m	10.96	—	565	4572
200	4.0 × 3.0m	7.32	6.4	376.6	3048
100	2.0 × 1.5m	3.66	4.27	188.3	1524
80	1.6 × 1.2m	2.92	3.42	169.5	1219
60	1.2 × 0.9m	2.2	2.57	113	914
40		1.46	1.71	75.3	609.6

ワイド：ズームレンズにおける投映画面サイズ調整において、投映画面のサイズが最大となる場合

テレ：ズームレンズにおける投映画面サイズ調整において、投映画面のサイズが最小となる場合

⚠ 注意

設置場所について

- 高温または低温になる場所には設置しないでください。
使用周囲温度：5℃～35℃
- スクリーンに直射日光や照明の光が直接当たらないように設置してください。スクリーンに光が当たると、白っぽく、見えにくい画面になります。
明るい部屋ではカーテンなどを引いてスクリーン周辺を暗くしてください。
- 湿気やほこり・油煙やタバコの煙が多い場所には設置しないでください。
レンズやミラーなどの光学部品に汚れが付着して、映像が悪くなる原因になります。
- 通風口をふさぐような場所や風通しの悪い狭い所に設置しないでください。温度が上昇して火災や事故の原因になります。（排気口は前面、吸気口は側面及び底面にあります。）
- 熱に弱い素材のテーブルやデスクマットの上に置かないでください。テーブルが変色したり、デスクマットが変形する恐れがあります。
- ぐらついたり、ゆれたりする不安定な場所には設置しないで下さい。
- 本機の動作中は、レンズの前をふさがないようにください。動作中はレンズを通して強い光が投映されており、レンズ前を物や手でふさぐと、火災ややけどの原因となります。
- 投映中は必ずレンズキャップを外して下さい。レンズキャップが変形する恐れがあります。

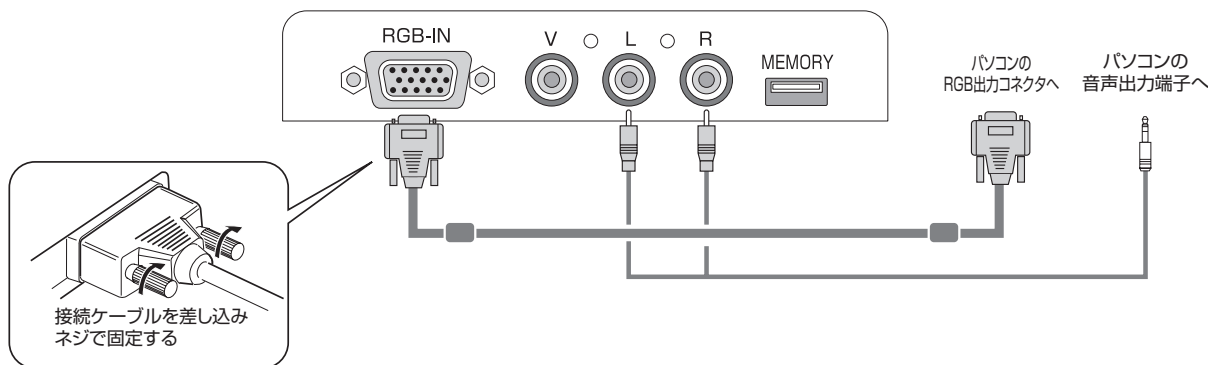
パソコンとの接続

注意

接続上のご注意

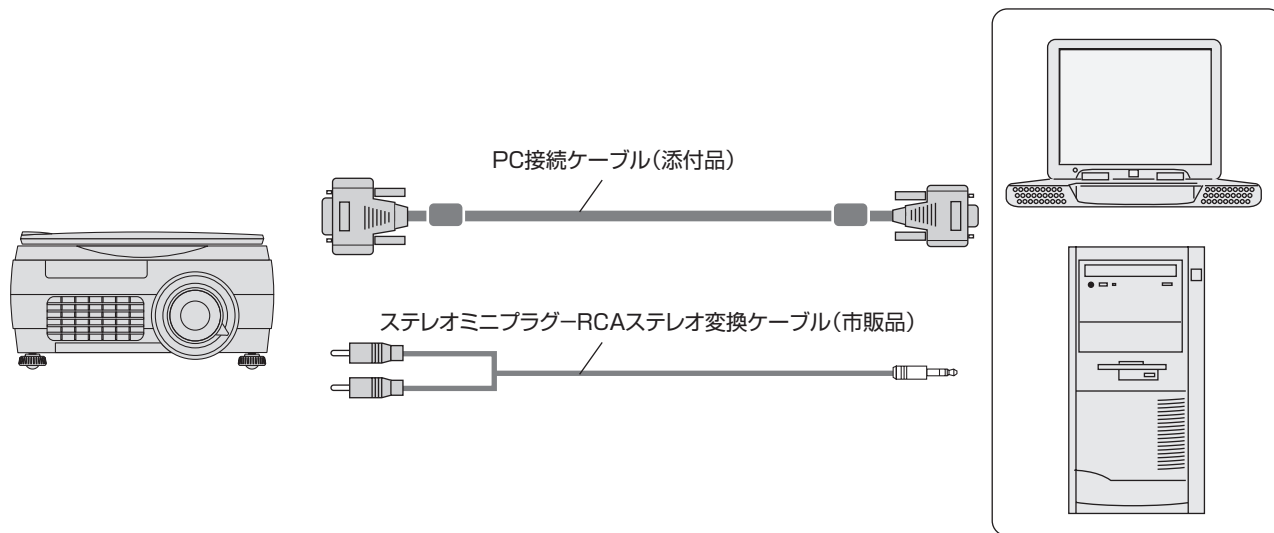
- ・本機および接続機器を保護するため、各々の電源を切ってから接続してください。
- ・接続する機器の接続や使用方法是各々の取扱説明書をご覧ください。
- ・ノートパソコンと接続する場合、ノートパソコンの液晶画面に映像を表示していると正しく表示されない場合があります。ノートパソコンの表示をOFFにすると正しく表示されます。ノートパソコンの表示をOFFにする方法は各メーカーにより異なります。詳しくはノートパソコンの説明書をご覧ください。
- ・パソコンのモデルおよび設定によっては接続できないことがあります。販売店にご相談ください。
- ・USBケーブルを接続することでは、PCの映像は投映出来ません。PC接続ケーブルを接続してください。

基本的な接続



お知らせ ・入力端子については 14 ページ参照

パソコンと接続する



お知らせ ・PC 接続ケーブルを接続してから、パソコン側で、外部出力とパソコンの画面表示を設定してください。

- ・外部出力の設定がされていないと“信号が入力されていません”と表示されます。
- ・信号が入力されていない状態が15分以上続くと自動的にランプを消灯します。

(オートパワーオフが“ON” の場合のみ有効です。 45 ページ参照)

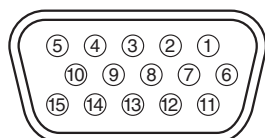
Macintosh を接続する場合

- ・モニタ出力がVGA ポート（ミニD-SUB15ピン）の場合は、本体付属PC接続ケーブルを取付けます。
- ・モニタ出力がビデオポートやDVIポートの場合は、Apple社の別売ビデオアダプタケーブルが必要です。

パソコン入力端子について

パソコン入力端子について

パソコン入力端子は、15ピンミニD-SUB型コネクタを使用しています。
各ピンと信号入力との関係は次の通りです。



① RED VIDEO	⑥ GND	⑪ NC
② GREEN VIDEO	⑦ GND	⑫ SDA (DDC2B)
③ BLUE VIDEO	⑧ GND	⑬ H.SYNC
④ GND	⑨ NC	⑭ V.SYNC
⑤ NC	⑩ GND	⑮ SCL (DDC2B)

お知らせ 本機のRGB（15P）入力端子はアナログ方式です。デジタル出力方式のパソコンとは接続できません。

パソコン画面の映像が投映されない場合

パソコンの映像が投映されない場合や、投映はされるが映像が正常でない場合には、次に示すことをご確認ください。

●映像が投映されない場合

パソコンからの外部出力信号がプロジェクタに入力されない場合、プロジェクタの表示画面に「PC 信号が入力されていません。」と表示されます。その場合は、次のことを確認してください。

1 パソコンを再起動してみてください。

パソコンを起動したあとにプロジェクタの接続を行うと、パソコン側でプロジェクタの接続が認識されない場合があります。認識されないと、パソコンからの外部出力信号が出力されないため投映されません。

2 パソコン側の機能を調べてください。

ノートパソコンによっては、「外部出力端子」から信号を出力するための操作が必要になるものがあります。その操作をしないとノートパソコンから外部出力信号が出力されない場合があります。

お使いのノートパソコンの取扱説明書をご覧ください、外部出力端子から信号を出力するための操作を行なってください。

パソコンとの接続不具合時の対応一覧（参考）

メーカー	外部出力切替方法	メーカー	外部出力切替方法
Lenovo (旧IBM)	Fn+f7	DELL	Fn+f8
NEC	並列出力	東芝	Fn+f5
	タスクバーにて切替	Panasonic	Fn+f3
	Fn+f3	富士通	Fn+f10
HP (旧COMPAQ)	Fn+f4	三菱	Fn+f5
シャープ	Fn+f5	Apple	システム環境設定→ディスプレイ→調整タブでミラーリングをチェック
SONY	Fn+f7		

※この表は各社の代表機種を弊社で独自に調査した結果であり、全ての接続を網羅しているわけではありません。

※記載された会社名、商品名は各社の商標または登録商品です。

●ノートパソコンの画面は正常だが、映像が正常に投映されない

パソコン側の機能を調べてください。

ノートパソコンの液晶画面は正常に表示されていても、投映された映像が正常に投映されない場合があります。まれにノートパソコンの制約により同時表示（パソコンの画面を表示しながら、外部出力信号も同時に出力すること）すると、プロジェクタで対応できる範囲の信号から大きくはずれてしまい、正常に投映することができなくなってしまいます。

この場合、プロジェクタ側で調整を行っても正常な映像にはなりません。

同時表示をやめて外部出力信号だけを出力するための操作を行なうと、プロジェクタでパソコン画面が正常に投映される場合があります。詳しくは、お使いのノートパソコンの取扱説明書をご覧ください。

入力信号対応表

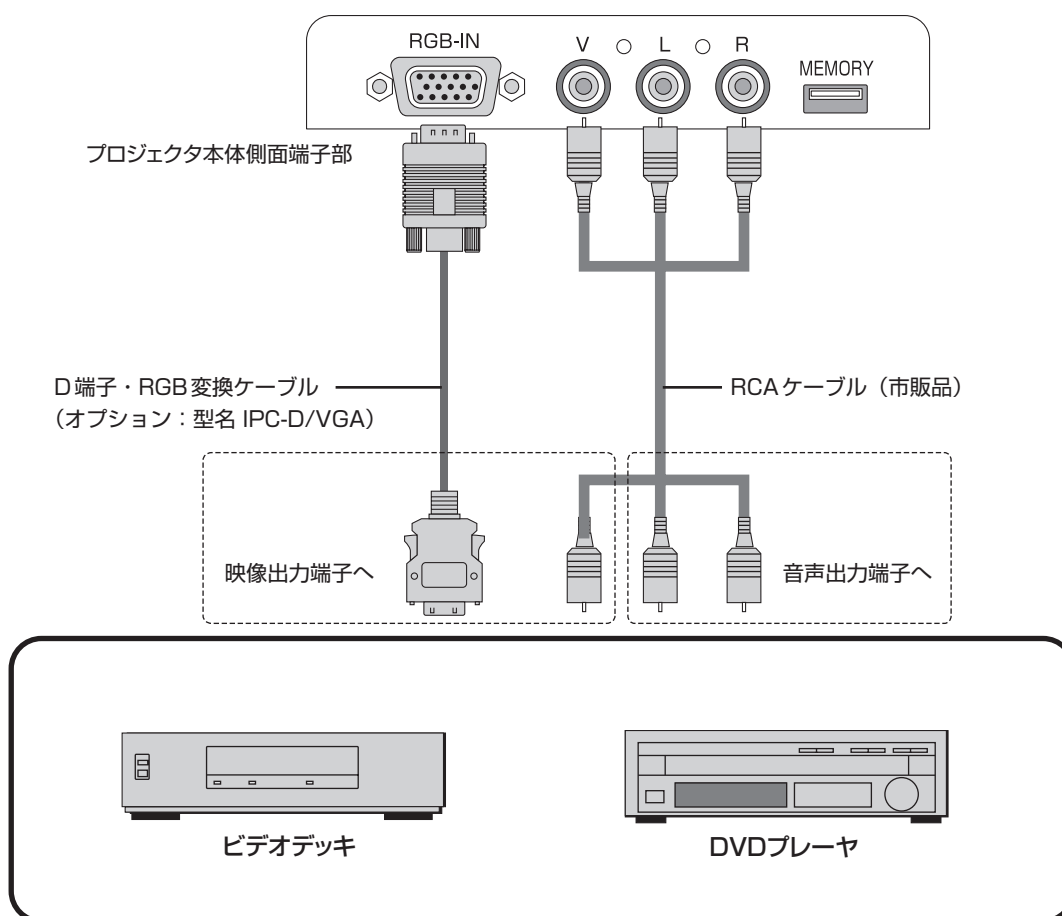
●印のついた信号に対応しています。ただし、パソコンの機種によって投映画面にちらつきやにじみが出る場合は、メニューの「映像調整」→「同期調整」で画面調整を行ってください。 42ページ参照

信号名	解像度 (水平×垂直)		水平周波数 (kHz)	垂直周波数 (Hz)	対応の可否
NTSC RGB	-	-	15.7	60	×
PAL/SECAM RGB	-	-	15.6	50	×
PC-98 Normal* ¹	640	400	24.8	56	●
PC-98 Hi	640	400	31.5	70	●
VGA-GR1	640	480	31.5	60	●
VGA-GR2* ¹	640	400	31.5	70	●
VGA-GR3* ¹	640	350	31.5	70	●
VGA-TX1* ¹	720	350	31.5	70	●
VGA-TX2* ¹	720	400	31.5	70	●
640×480 72Hz	640	480	37.8	72	●
640×480 75Hz	640	480	37.5	75	●
640×480 85Hz	640	480	43.2	85	●
Mac13"RGB	640	480	35.0	66	●
800×600 56Hz	800	600	35.1	56	●
800×600 60Hz	800	600	37.8	60	●
800×600 72Hz	800	600	48.0	72	●
800×600 75Hz	800	600	46.8	75	●
Mac16"RGB	832	624	49.7	74	●
1024×768 43Hz	1024	768	35.5	43	×
1024×768 60Hz	1024	768	48.3	60	●
1024×768 70Hz	1024	768	56.4	70	●
1024×768 75Hz	1024	768	60.0	75	●
1024×768 85Hz	1024	768	68.7	85	●
MAC19"1024×768	1024	768	60.2	75	●
1280×768 60Hz	1280	768	47.7	60	●
MAC21"1152×864	1152	870	68.7	75	●
1280×800 60Hz	1280	800	49.7	60	●
1280×960 60Hz	1280	960	60.0	60	●
1280×960 85Hz	1280	960	85.9	85	×
1280×1024 60Hz	1280	1024	64.0	60	●
1280×1024 75Hz	1280	1024	80.0	75	●
1280×1024 85Hz	1280	1024	91.1	85	●
1600×1200 60Hz	1600	1200	75.0	60	●
1600×1200 65Hz	1600	1200	81.3	65	×
1600×1200 70Hz	1600	1200	87.5	70	×
1600×1200 75Hz	1600	1200	93.8	75	×
1600×1200 85Hz	1600	1200	106.3	85	×

- ・ 入力信号の解像度が 1024 × 768 ドットより低い場合は拡大し、高い場合は圧縮して表示します。
- ・ 上記 *¹ の信号は、キーストン(台形補正)をいっぱいかけると映像の一部が欠ける場合があります。これらの信号を使用し、台形補正をするときは、映像を確認しながら支障の出ない程度に設定してください。
- ・ D1 ～ D4 映像 (D1 : 525i (480i)、D2 : 525p (480p)、D3 : 1125i (1080i)、D4 : 750p (720p) の各信号方式) に対応しています。
- ・ SXGA (1280 × 768) より高い解像度では、映像のズームに制限があります。また、この時映像を静止画にすることは出来ません。

映像機器（ビデオ・DVDプレーヤー等）との接続

ビデオやDVDプレーヤーの映像を大画面に映します。



お知らせ

- ・ ノイズの多い映像信号を入力すると、映像がモノクロ表示される場合があります。そのような場合には、「映像信号方式」メニューで入力信号に合わせて設定して下さい。（日本国内の方式はNTSC3.58です。）
- ・ 信号が入力されていない状態が15分以上続くと自動的にランプを消灯します。（オートパワーオフが“ON”の場合のみ有効です。▶45ページ参照）

電源コードの接続と入／切

電源を入れる

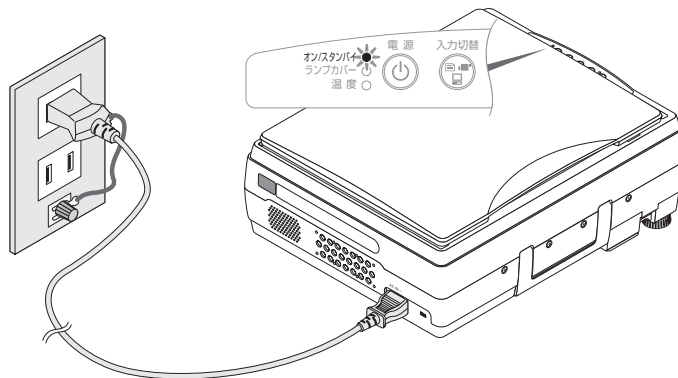
1 電源コードをつなぐ

スタンバイ状態となり、オン/スタンバイLEDが赤色に点灯します。

U字型金具を電源コンセントの
アース端子に接続する

● 接地接続は必ず、電源プラグを電源
につなぐ前に行ってください。ま
た、接地接続をはずす場合は、必
ず電源プラグを電源から切り離し
てから行ってください。

- ・ U字型金具はアース端子以外に接続又
は挿入しないで下さい。



2 電源ボタン (⏻) を押す

【本体での操作】

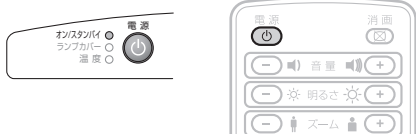
【リモコンでの操作】

ファンが回転し、ランプが点灯し、オン/スタンバイLEDが緑色に点灯します。
ランプ/カバーLEDが緑色に点灯します。

- ・ 電源ボタンを押したあと、LEDが赤色に点灯すると装置異常です。

➡ 52ページ参照

- ・ 電源ボタンを押す前にレンズキャップが外されていることをご確認ください。



これでプロジェクタが投映できる状態になりました

電源を切る

1 電源ボタン (⏻) を押す

投映画面に、“もう一度電源ボタンを押すと消灯します。”と表示されます。

【本体での操作】

【リモコンでの操作】

2 もう一度、電源ボタン (⏻) を押す

ランプが消灯します。

- ・ ランプ/カバーLEDが緑色に点滅し、クーリング完了後消灯します。

オン/スタンバイLEDが赤色に点灯します。

- ・ ランプ消灯時、ランプ/カバーLEDが緑色に点滅中に電源ボタンを押してもランプは再点灯しません。
ランプを再点灯するときはオン/スタンバイLEDが赤色点灯後、再度電源ボタンを押してください。

3 電源コードを抜く

操作パネル上のオン/スタンバイLEDが消えます。

ランプ/カバーLEDが緑色に点滅している場合でも電源コードを抜くことができます（ダイレクトパワーオフ機能）。



注意

- ・ ランプ点灯中は電源コードを抜かないでください。
- ・ USBメモリー使用後は、USBメモリーを挿したままにせず、必ず取り出して保管して下さい。
- ・ 長時間使用しないときは、本機の電源プラグをコンセントから抜いてください。
- ・ 電源プラグをコンセントから抜いたあと、再度コンセントに差し込む場合は、一定の間隔（約10秒間）をあけてください。

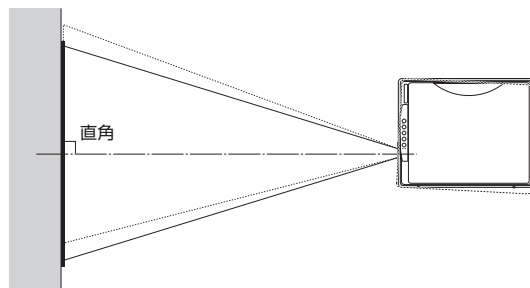
投映画面の調整

投映画面を調整する

スクリーンに投映画面を合わせます。

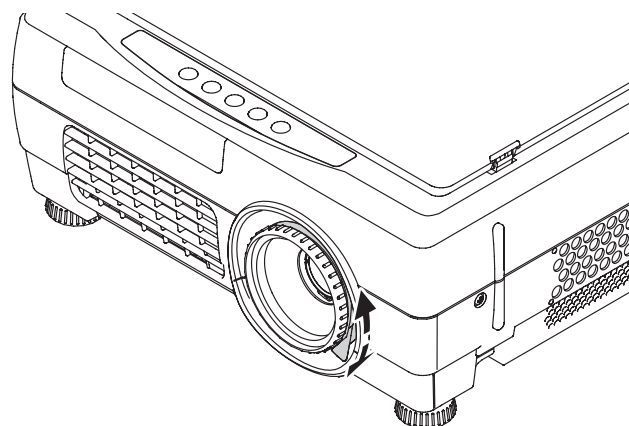
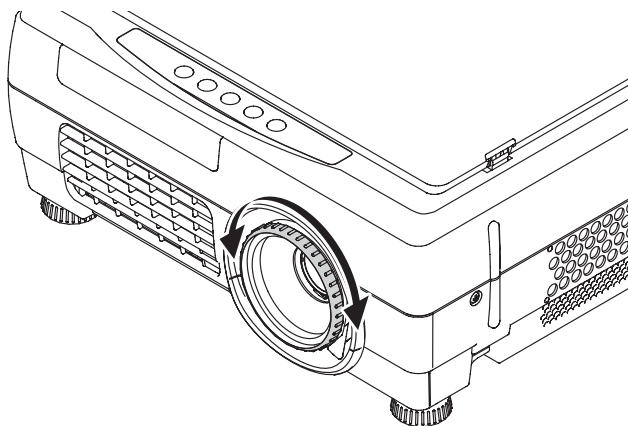
- 左右方向にずれている場合は本体を横に移動します。(スクリーンの中心と本体レンズの中心を合わせます。)
- 上下方向にずれている場合はチルトフットで上下方向を調整します。
- 傾いている場合は右または左のチルトフットを回して調整します。
- 台形状に歪んでいる場合は、メニュー操作のキーストンで調整します。▶ 38、44ページ参照

ただし、キーストンの自動調整が“ON”に設定されている場合は縦方向のみが自動的に調整されます。横方向はマニュアル操作で調整が出来ます。



フォーカス／ズーム調整をする

投映レンズのフォーカスリング／ズームレバーを回転させ、投映画面を調整します。

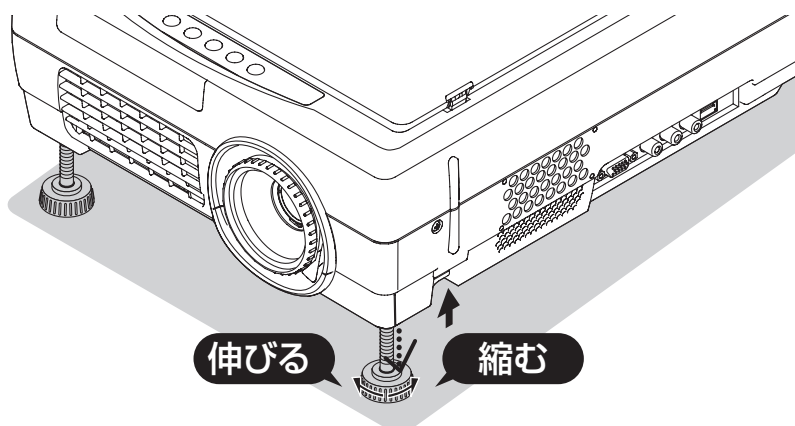


- 投映距離により画面サイズが変わります。▶ 19ページ参照

チルト（傾斜）を調整する

チルトフットを調節することにより、投映画面の位置や傾きを調整することができます。

左右のチルト調整レバーを押して本体の前側を持ち上げ、お好みの高さになったら手を離します。チルトフット最下部を回すことによって、微調整することもできます。左に回すと伸び、右に回すと縮みます。



注意

- チルトフットを片側だけ伸ばして、本体を極端に傾けないでください。すべったり、倒れたりすることがあり、事故や故障の原因になります。
- 本体を移動させる場合は、必ずチルトフットを元に戻してください。
- 本体側面及び底面の吸気口は、強い風で冷却用空気を吸気しています。布や紙が吸気口に吸い付き塞ぐと、内部温度が上昇し、事故や故障の原因になります。
- 設置場所の素材によっては、ゴム足により設置面を汚す場合があります。

通常の操作

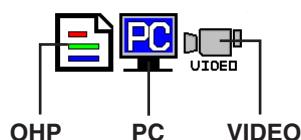
本体やリモコンボタンでの直接操作の使い方です。

メニューを使つての操作は38 ページ「メニューの操作方法」と40 ページ「メニュー説明」の各項目をご覧ください。

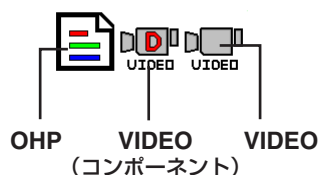
入力を選ぶ

本機の電源を入れると入力選択（OHP/PC/VIDEO）または（OHP/VIDEO（コンポーネント）/VIDEO）のいずれかのアイコンが表示されます。

（PC入力=RGBのとき）



（PC入力=コンポーネントのとき）



【本体での操作】

入力切替ボタンで入力を選びます。
押すごとに OHP→PC→VIDEO または OHP→VIDEO（コンポーネント）→VIDEO の方向で入力が切り替わります。



【リモコンでの操作】

入力切替ボタンで入力を選びます。

※ PC 入力の選択方法につきましては40 ページをご参照ください。

お知らせ

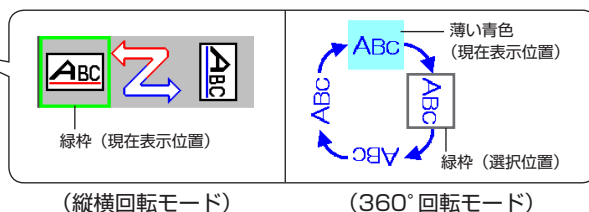
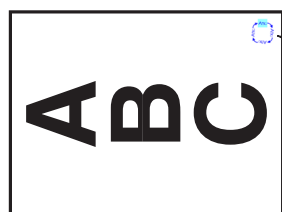
起動時の入力状態は、前回終了時のものになっています。
アイコンが表示されている時は、左右キーでも入力切替ができます。

投映画面の向きを変える

OHP入力時のみ有効

現在、投映している映像の向きを0°と90°に切替えます。切り替えられた映像は画面の横幅に合わせて表示されます。また、メニュー画面より90°ごとに360°回転を行うモードを選択できます。

（90°回転選択の場合）



【本体での操作】

横↔縦ボタンを押します。

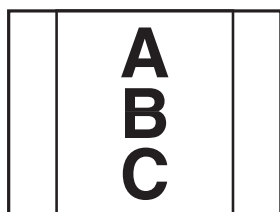
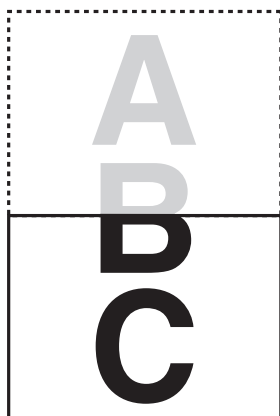


【リモコンでの操作】

横↔縦ボタンを押します。

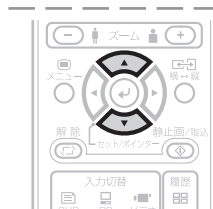
- 横↔縦ボタンを押すと回転選択アイコンを表示します。目的の向きを選んでください。映像が切り替わると、表示は消えます。

●表示しきれない部分を見るには



【本体での操作】

本体の操作パネルではスクロールはできません。



【リモコンでの操作】

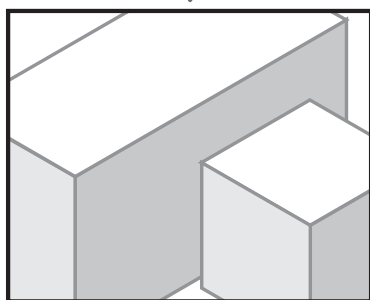
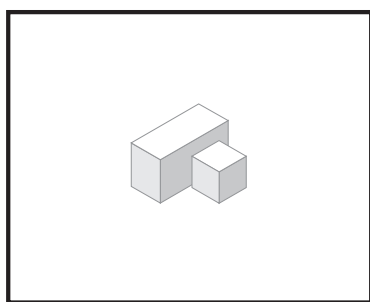
スクロール▲▼ボタンを押し、投映画面を上下にスクロールさせます。

- ・ズーム（－）ボタンを押していくことで縦表示の読み取り範囲内の大部分を表示することができます。表示されない部分はスクロール▲▼ボタンで表示することができます。

お知らせ ズーム機能を使用している状態で投映画面の向きを変えた場合も同様に横幅に合わせて表示されます。

投映画面を拡大／縮小する

現在投映している映像を拡大／縮小します。



【本体での操作】

本体の操作パネルでは拡大／縮小はできません。



【リモコンでの操作】

ズームボタンを押します。

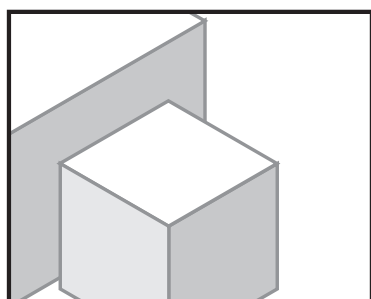
■（＋）：投映画面を拡大します。

■（－）：拡大した投映画面を縮小します。

お知らせ SXGA（1280×768）より高い解像度では、映像のズームに制限があります。また、この時映像を静止画にすることは出来ません。

●画面を移動させるには

移動できる方向は4方向（上下左右）です。



【本体での操作】

本体の操作パネルではスクロールはできません。



【リモコンでの操作】

スクロール▲▼◀▶ ボタンを押します。

明るさを調整する

明るさを変更したい場合は下記の方法で手動調整を行ないます。

【本体での操作】

本体の操作パネルでは明るさの調整はできません。



明るさ調整バー



【リモコンでの操作】

明るさ ☀(+)/☀(-) ボタンで調整します。

☀(+): 投映画面が明るくなります。

☀(-): 投映画面が暗くなります。

お知らせ

明るさ調整バーを表示させた状態で数秒間操作がない場合、明るさ調整バー表示が消えます。

OHP入力時のみ有効

●PC/VIDEO入力時

静止画/取込ボタンを押すことにより、現在投映している映像を静止画表示させます。

お知らせ

- ・ 静止画表示中は静止画LEDが緑色に点灯します。
- ・ 動画を投映中に静止画/取込ボタンを押すと、ズーム倍率/位置は元に戻ります。
- ・ OHP入力時、静止画を投映中に静止画/取込ボタンを押すと、ズーム倍率/位置は元に戻ります。
- ・ 静止画表示中に本体の入力切替ボタンまたはリモコンのOHP/PC/ビデオの各ボタンを押すとPC、ビデオの静止画は解除され、その後入力が切替わります。OHPは静止画のままです。

●静止画表示を解除するには



【本体での操作】

解除ボタンを押します。



【リモコンでの操作】

解除ボタンを押します。

内蔵メモリーやUSBメモリーの画像を使ってプレゼンテーションを行う

保存した履歴画像をプロジェクトで投映します。

●USBメモリーの画像を使ってプレゼンテーションを行う(※)

(※)動作確認済USBメモリーは、当社ホームページをご参照ください。

<http://www.avio.co.jp/support/mp/index.htm>

その他のUSBメモリーについては動作保証しません。

USBメモリーの種類によって処理速度が遅くなる場合があります。

(※)取り込んだ画像は「DCIM」フォルダの中の「AVMPJ」(XXXは100～499の間)フォルダへ保存されます。

XXXAVMPJのフォルダの中には、拡張子をJPGに変更したファイルや本機以外で生成したデジタルカメラの画像ファイルを入れないでください。履歴再生時に映像が乱れるなど誤動作の原因となります。

また、読み込みに失敗した場合や、壊れているJPGファイルが含まれていた場合、該当ファイル箇所は灰色に表示されます。ファイルが壊れていないときは、履歴再生画面を一度解除し、再び履歴再生画面を表示することで、正常に表示されます。

1 資料を準備する

USBメモリーを本体にセットしてください。▶ 14 ページ

- ・ 本機で取り込んだ画像以外にも、iP-Viewer tool を利用し、画像を変換することで本機で投映することができます。

※ iP-Viewer tool は弊社ホームページより無料でダウンロードすることが出来ます。<http://www.avio.co.jp/support/mp/index.htm>

2 フォルダー一覧を開く

リモコンの履歴ボタンを押します。

本体の静止画LEDがオレンジ色に点灯(履歴モード)します。

- ・ 一度に16枚のフォルダを表示します。

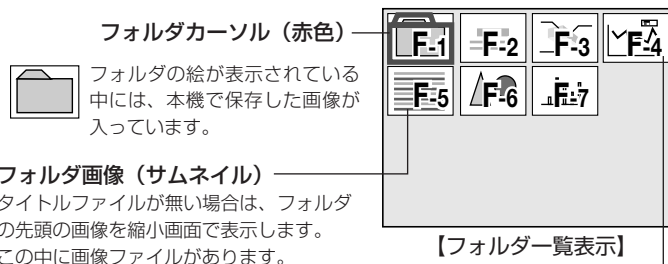


【本体での操作】

静止画LED(オレンジ色)



【リモコンでの操作】



フォルダカーソル(赤色)

フォルダの絵が表示されている中には、本機で保存した画像が入っています。

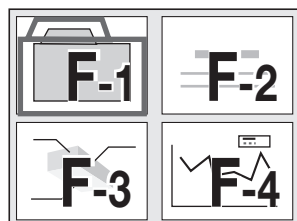
フォルダ画像(サムネイル)
タイトルファイルが無い場合は、フォルダの先頭の画像を縮小画面で表示します。
この中に画像ファイルがあります。

【フォルダー一覧表示】

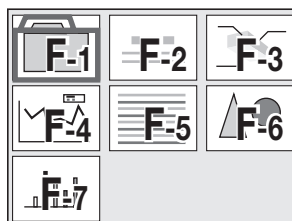
説明のための番号で実際には
1～16の番号で表示されます。

お知らせ

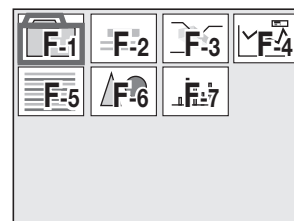
メニュー画面より、一覧表示枚数を変更することが出来ます。



(4枚)



(9枚)

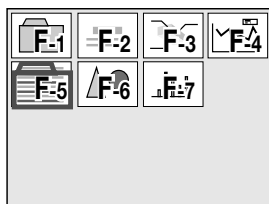


(16枚)

3 フォルダを選択する

リモコンのスクロール ▲▼◀▶ ボタンを押して、フォルダカーソルを映したいフォルダ画像に合わせます。

フォルダ画像が 16 を超える場合、スクロールボタンを押すと別のページに切り替わります。

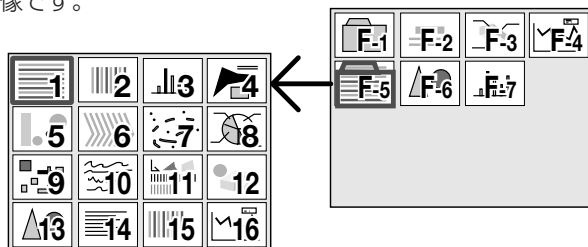


【リモコンでの操作】

4 ファイル一覧を開く

リモコンのセット/ポインターボタンを押してファイル一覧を開きます。

・フォルダー一覧に表示される画像は、ファイル一覧で 1 枚目にある画像です。



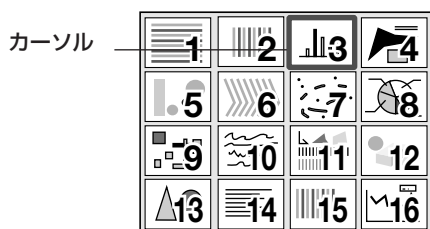
【リモコンでの操作】

お知らせ 縦向きに切り替えて保存した画像は、縮小画面で横向きになっていても全画面にすると縦向きの画像になります。

5 ファイルを選択する

リモコンのスクロール ▲▼◀▶ ボタンを押して、カーソルを映したい縮小画像に合わせます。

縮小画面が 16 枚を超える場合、スクロール ▼ ボタンを押すと 17 枚目からの縮小画面が表示されます。

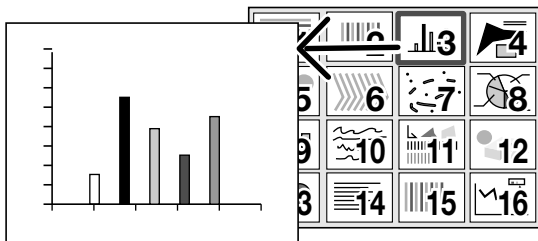


【リモコンでの操作】

お知らせ 本機で再生できない画像ファイルは表示されません。

6 全画面で映す

リモコンのセット／ポインターボタンを押します。
カーソル位置の縮小画像がプロジェクタの投映画面一杯に映ります。

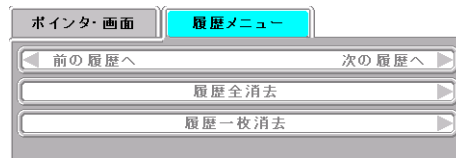


ページを送るときは、メニューの次へ（前へ）を選択します。
また、リモコンの音量＋、音量－ボタンでも変えることができます。
※ ズームが最小になっているときには、スクロール ◀ ボタンを押すと表示している画像の前の画像に、スクロール ▶ ボタンを押すと、次の画像に切り替えることができます。



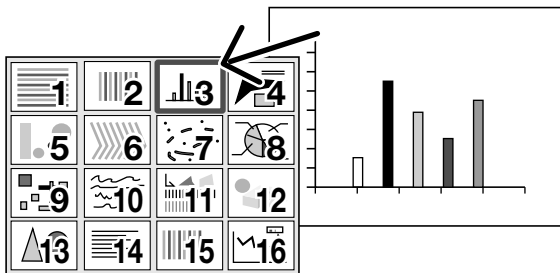
【リモコンでの操作】

【画面での操作】



7 他の画像を選択する

リモコンの履歴ボタンを押して、ファイル一覧表示に戻します。
フォルダ内の別の画像の選択はスクロール ▲▼◀▶ ボタンを押して、選択します。
フォルダー一覧に戻すには、もう一度履歴ボタンを押します。
手順3から操作を行って目的の画像を選択します。



【リモコンでの操作】

8 OHP の画像を映す／終了する

リモコンの解除ボタンまたは OHP ボタンを押してください。

USB メモリーの取り出し口は 14 ページ

お知らせ USB メモリー内の画像データを PC で操作する場合は、操作後に本機でデータが読み取れなくなる事を防ぐため、USB メモリーからコピーしたデータを扱ってください。



【本体での操作】

静止画 LED（消灯）



【リモコンでの操作】

音量を調整する

PC・VIDEO 入力時のみ有効



音量調整バー

【本体での操作】

本体の操作パネルで音量調整はできません。

【リモコンでの操作】

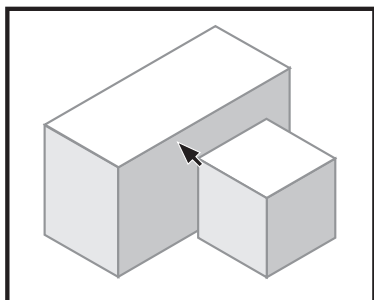
音量＋／－ボタンで調整します。



お知らせ 音量調整バーを表示させた状態で数秒間操作がない場合、音量調整バー表示が消えます。
PC と VIDEO の音量は、それぞれ独立して調整をすることができます。

ポインターを表示する

現在投映している映像にポインターを表示します。



【本体での操作】

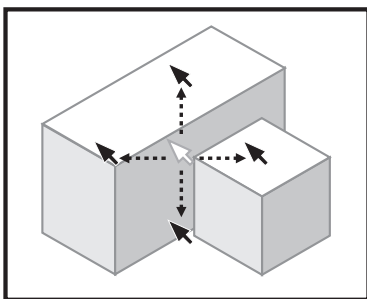
本体の操作パネルでポインターの表示／非表示はできません。

【リモコンでの操作】

セット／ポインターボタンを押します。
ポインターが表示されている状態でもう一度セット／ポインターボタンを押すとポインター表示が消えます。



●ポインターを移動させるには

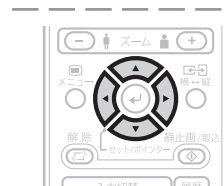


【本体での操作】

本体の操作パネルでスクロールはできません。

【リモコンでの操作】

スクロール▲▼◀▶ボタンを押します。



ポインターの「形状」「色」「サイズ」については 40 ページ参照

お知らせ

ポインターを表示しているときに明るさの調整、又は音量調整を行なうと一時的にポインターが消えますが、明るさ調整後、又は音量調整後に再表示します。
なお、PC/ビデオモードの静止画状態の時には、ポインタを表示出来ません。

投映画面と音声を消す

ランプを消灯せずに現在投映している映像／音声を消します。

【本体での操作】

本体の操作パネルで投映画面を消すことはできません。

【リモコンでの操作】

消画ボタンを押します。



お知らせ

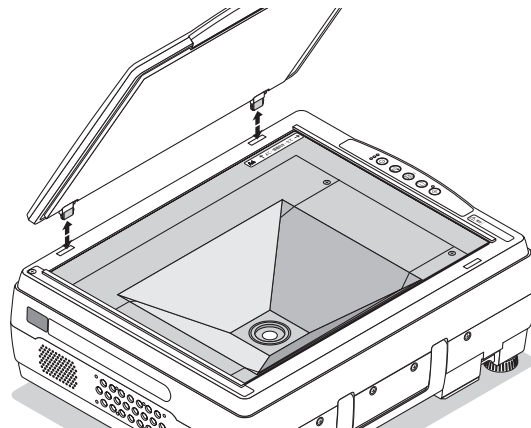
映像／音声を消したままで、一定時間（約30分間）経過すると本機を終了する確認のメッセージが表示されます。「Yes」を選ぶとスタンバイ状態になり、「No」を選ぶと映像／音声再び消えます。
また、確認メッセージ表示中、30秒間操作がない場合は自動的にスタンバイ状態になります。

OHP 操作の方法

資料カバーの取付け

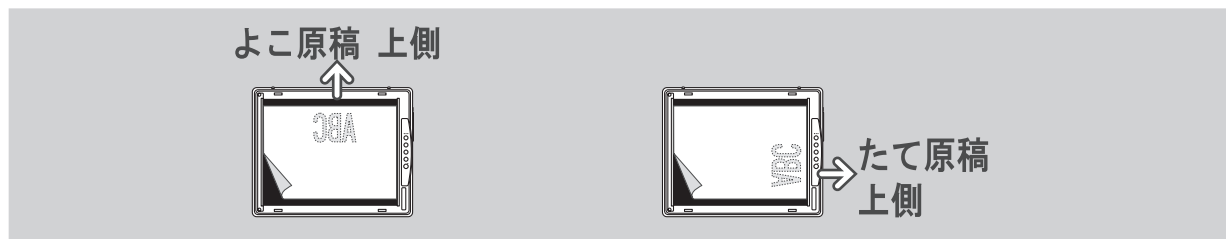
状況にあわせて資料カバーを対向方向に付け替えることができます。

お知らせ 資料カバーをはずす時は、両手でカバーを持ってはずしてください。



投映原稿の準備

投映する原稿（資料／印刷物等）は下図のようにして本機に乗せ、資料カバーを閉じてください。

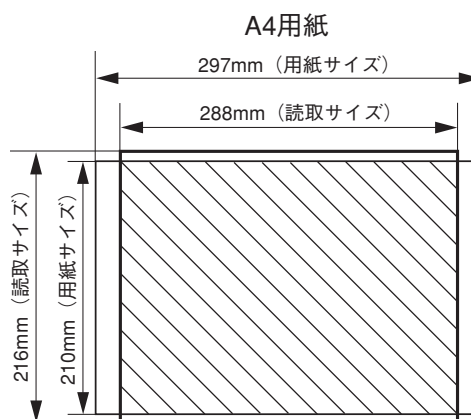


- お知らせ**
- 資料カバーを閉じなくても映すことはできますが、その場合余分なものが映り込んで映像が見にくくなる場合があります。
 - 雑誌の表紙など光沢のある紙や黒い紙を載せた場合、内部蛍光灯が写り込み、投映された資料の端が見えにくくなる場合があります。

投映原稿の読み取りサイズ

資料や印刷物を読み取れる最大サイズは、縦216mm、横288mmです。

従って、A4（縦210mm、横297.5mm）の用紙を置いた場合は下図のようになります（斜線部が映せる範囲です）。



読み取り範囲からはずれた部分は画面に映りませんので、用紙をずらしてご使用ください。

※重たい投映物を乗せると読み取りサイズが少し小さくなる事があります。

その他、OHP 操作時に使う機能は下記のページをご参照ください。

- 入力をOHPに切り換える 27ページ参照
- 投映画面を静止画表示にする 30ページ参照
- 投映画面を取り込む 30ページ参照
- 取り込み画像を閲覧する 31ページ参照

メニューの構成

入力選択によって調整／設定項目や内容が異なり、その入力で可能な調整／設定項目をメニュー表示します。

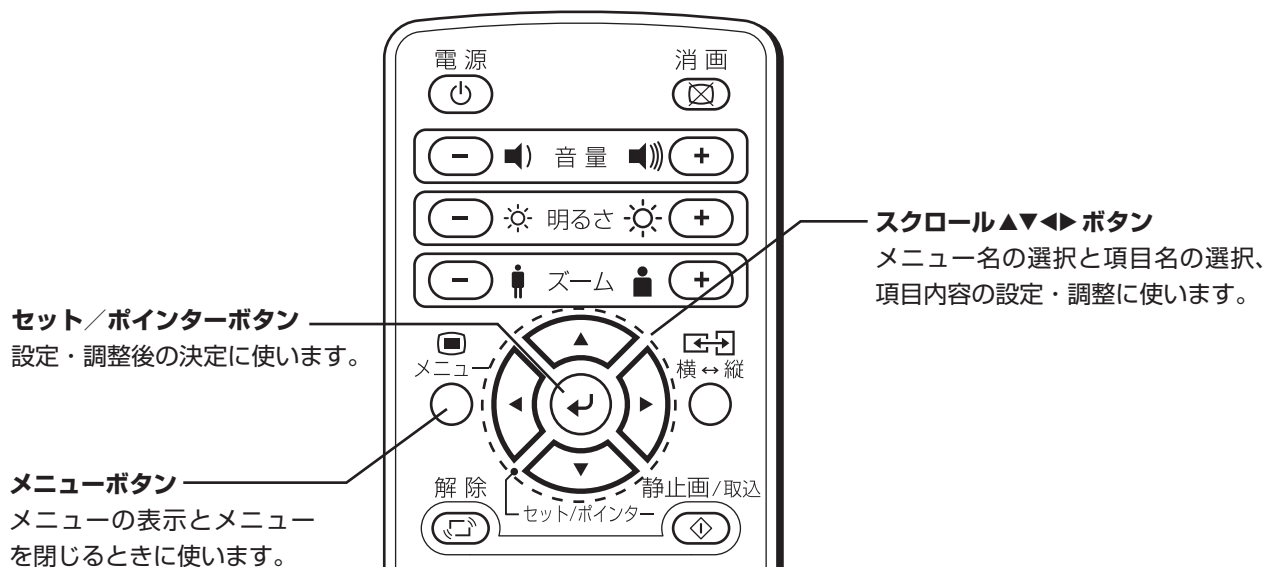


	ポインタ・画面	履歴メニュー	映像調整	設置設定
OHP入力時	ポインタ形状	◀前の履歴へ 次の履歴へ▶ (一枚表示時のみ)	赤	キーストン
	ポインタ色	履歴全消去	青	言語選択
	ポインタサイズ	履歴一枚消去	カラーモード	投映方式
	消画面面			エコモード
	保存画質			オートパワーオフ
	回転角度切替			ランプ使用時間
	履歴画像転送			入力信号
	USB フォーマット			
PC入力時 (RGB)	ポインタ形状		コントラスト	キーストン
	ポインタ色		明るさ	言語選択
	ポインタサイズ		赤	投映方式
	消画面面		青	エコモード
	PC入力		輪郭強調	オートパワーオフ
			アスペクト比	ランプ使用時間
			カラーモード	入力信号
PC入力時 (コンポーネント)	ポインタ形状		コントラスト	キーストン
	ポインタ色		明るさ	言語選択
	ポインタサイズ		色の濃さ	投映方式
	消画面面		色あい	エコモード
	PC入力		輪郭強調	オートパワーオフ
			アスペクト比	ランプ使用時間
			カラーモード	入力信号
VIDEO入力時	ポインタ形状		コントラスト	キーストン
	ポインタ色		明るさ	言語選択
	消画面面		色の濃さ	投映方式
	ポインタサイズ		色あい	エコモード
			輪郭強調	オートパワーオフ
			アスペクト比	ランプ使用時間
			カラーモード	入力信号
			映像信号選択	

お知らせ 履歴表示時は映像調整、設置設定は行えません。

メニューの操作方法

メニュー操作で使うボタンの名称とはたらき



メニュー各部の名称とはたらき



サブメニューアイコン

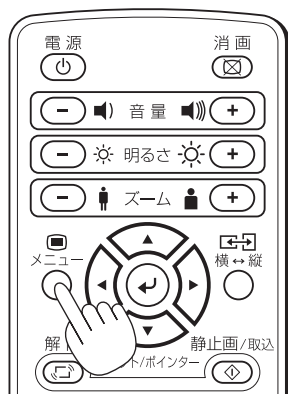
このアイコンがある項目を選択すると、サブメニューに切り換わります。



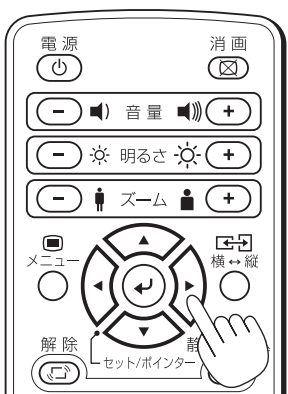
メニューの操作方法

実際の操作方法を説明します。例としてリモコンで「明るさ」の調整を行います。

1 メニューボタンを押して、メニューを表示させる

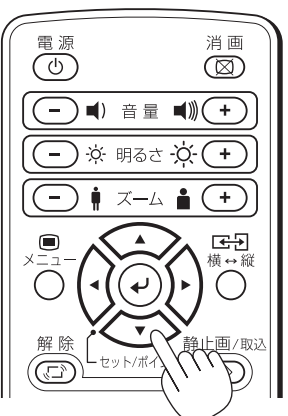


2 スクロール◀▶ボタンで「映像調整」を選択する



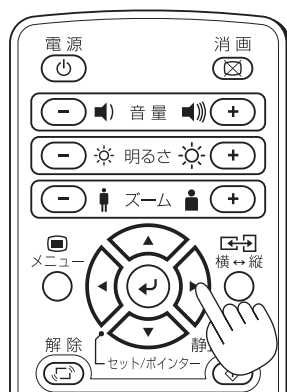
スクロール▶ボタンを押すごとに「ポインタ・画面」→「映像調整」→「設置設定」の方向へメニューが切り換わり、スクロール◀ボタンを押すごとに逆方向へ戻ります。

3 スクロール▼ボタン、またはセットキーで詳細メニューを表示し、「明るさ」を選択します。



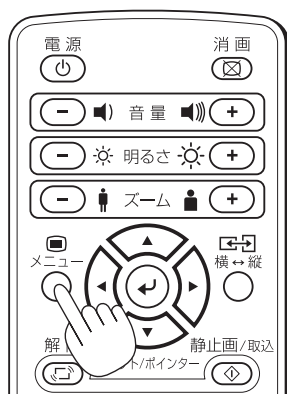
カーソルを移動し、「キーストン」を選択します。

4 投映画面を確認しながらスクロール◀▶ボタンで調整する



スクロール◀ボタン： 押すごとに数値が下がります。
スクロール▶ボタン： 押すごとに数値が上がります。

5 メニューボタンを押して、メニューを閉じる



これで「明るさ」の調整が終わりました。

メニュー説明

ポインタ・画面設定

ポインタの形状／色／サイズを選択します。

- ポインタ形状.....ポインタの形を2種類から選択します。
 - ポインタ色.....ポインタの色を3種類（赤・白・青）の中から選択します。
 - ポインタサイズ.....ポインタの大きさを3段階で変えることができます。
 - 消画面面.....消画時に表示する画像を設定します。
黒：全黒画面を表示します。
壁紙：壁紙画像を表示します。
 - 保存画質.....OHPの資料を履歴に保存する場合の画質を選択します。
Fine：保存時のサイズが大きくなり、保存枚数が少なくなりますが高品質の画質で保存します。
Standard：多くのファイルを保存することができますが、画質は粗くなります。
 - 回転角度切り替え.....本体の縦横キーを押下した時に、OHP画像が回転する角度を設定することができます。
90：(0° ↔ 90°)
360：(0° → 90° → 180° → 360°)
 - 履歴画像転送.....内蔵メモリに保存した画像を、挿入したUSBメモリへ転送する機能です。
- ※ USBメモリを挿入していない時に保存した画像はプロジェクタ本体に保存されています。なお、一度電源を消灯すると、その時内蔵メモリに記録された画像は消去されます。
- USBフォーマット.....USBメモリー内の全データを削除します。
 - PC入力.....入力信号（RGB／コンポーネントビデオ）を選択します。
RGB：PCの映像を投映する場合、こちらをご使用ください。
コンポーネント※：D1～D4映像のビデオを投映する場合、こちらをご使用ください。

- ※ オプション品のD端子・RGB変換ケーブルが必要となります。
※ コンポーネントを選択した場合、ビデオの音声はビデオ音声入力端子に接続してください。
※ コンポーネントを選択した場合、RGB信号（PCの映像）を入力しないで下さい。正常に表示しません。

OHP入力時

ポインタ・画面	映像調整	設置設定
ポインタ形状		
ポインタ色		
ポインタサイズ		
消画面面	黒	壁紙
保存画質	Fine	Standard
回転角度切り替え	90	360
履歴画像転送		
USBフォーマット		

PC・コンポーネントビデオ入力時

ポインタ・画面	映像調整	設置設定
ポインタ形状		
ポインタ色		
ポインタサイズ		
消画面面	黒	壁紙
PC入力	RGB	コンポーネント

VIDEO入力時

ポインタ・画面	映像調整	設置設定
ポインタ形状		
ポインタ色		
ポインタサイズ		
消画面面	黒	壁紙

履歴メニュー

OHP入力時のみ

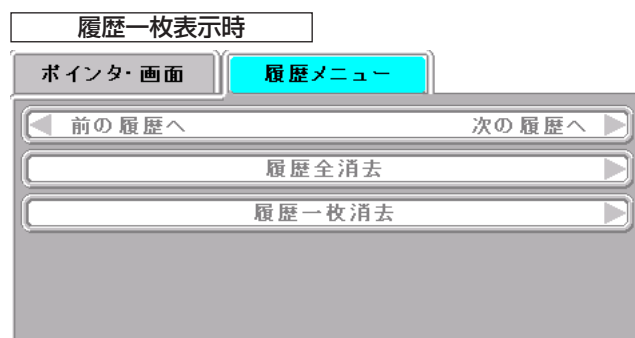
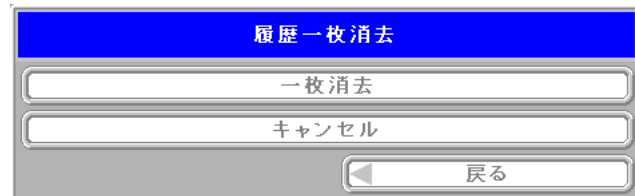
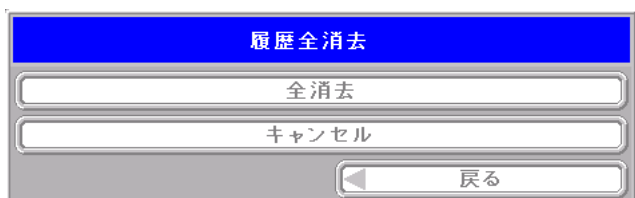
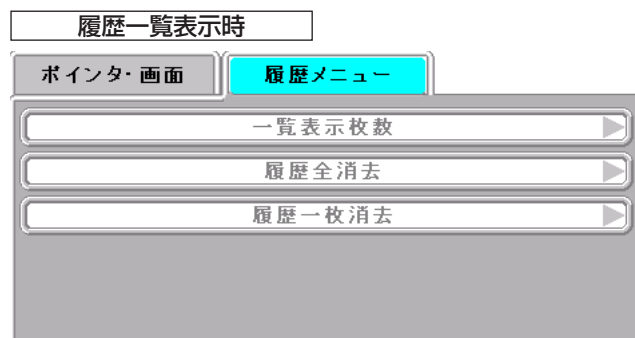
- 一覧表示枚数.....一覧で同時に表示させるサムネイル画像の数を選択します。
4枚：一覧で4枚のサムネイル画像が同時に表示されます。
9枚：一覧で9枚のサムネイル画像が同時に表示されます。
16枚：一覧で16枚のサムネイル画像が同時に表示されます。

- 履歴全消去 確認画面が表示されるので、「全消去」を選択し、セット／ポインターボタンを押すと内蔵メモリーに保存されているOHP履歴画像をすべて消去します。
USBメモリー利用時は現在表示しているファイルが格納されたフォルダ内の全てのデータを消去します。

- 履歴一枚消去.....現在表示されている履歴画像を消去し、次の履歴画像を表示します。

OHP履歴一覧から選んだ一枚を投映中のみ以下の項目が表示されます。

- 前の履歴へ 次の履歴へ カーソルを合わせリモコンの◀ボタンで「前の履歴へ」、▶ボタンで「次の履歴へ」を選択します。
前の履歴へ：現在投映している履歴画面の前にメモリーされている履歴画面へ切り換えます。
次の履歴へ：現在投映している履歴画面の次にメモリーされている履歴画面へ切り換えます。



映像調整

投映された映像に関する設定・調整を行います。

OHP入力を選択した場合

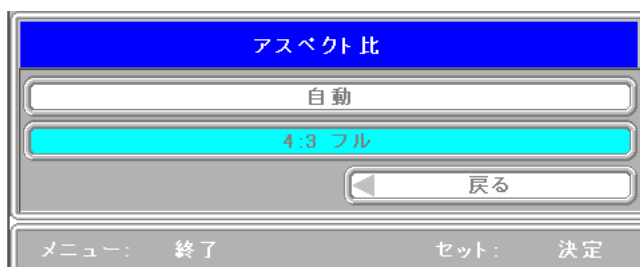
- 赤（赤色調整）..... 赤色の濃淡を-50～50の範囲で調整します。
- 青（青色調整）..... 青色の濃淡を-50～50の範囲で調整します。

サブメニュー：カラーモード

- 高輝度 (💡)..... コントラストが強く、メリハリの効いた映像を表示します。
- プレゼン (🖨️)..... プレゼンテーション（PC投映）に適した色で表示します。
- ナチュラル (🎨)..... 自然な色合いで表示します。
- 黒板 (📌)..... 黒板に映像を投映するとき 사용합니다。

PC入力(RGB)を選択した場合

- コントラスト..... 投映された映像のコントラストを-50～50の範囲で調整します。
- 明るさ..... 投映された映像の明るさを-50～50の範囲で調整します。
- 赤（赤色調整）..... 赤色の濃淡を-50～50の範囲で調整します。
- 青（青色調整）..... 青色の濃淡を-50～50の範囲で調整します。
- 輪郭強調..... 投映された映像の鮮明度を5段階から選択します。数値が大きくなるに従い、映像の輪郭がはっきりします。
- アスペクト比..... 投映された映像のアスペクト比を自動もしくは4:3フルに切り替えます。自動認識が選択されている場合は、入力によってアスペクト比を切替えます。



サブメニュー：同期調整

- CLOCK（クロック）..... 投映された映像の水平サイズを-50～50の範囲で調整します。
- PHASE（フェーズ）..... 投映された映像のノイズ／ちらつきを-50～50の範囲で調整します。
- 水平位置 投映された映像の水平位置を-50～50の範囲で調整します。
- 垂直位置 投映された映像の垂直位置を-50～50の範囲で調整します。
- 自動調整 自動で同期調整を行います。



お知らせ PC入力信号によっては-50～50まで変化しない場合があります。

PC入力（コンポーネント）またはVIDEO入力を選択した場合

- コントラスト..... 投映された映像のコントラストを-50～50の範囲で調整します。
- 明るさ 投映された映像の明るさを-50～50の範囲で調整します。
- 色の濃さ 色の濃淡を-50～50の範囲で調整します。
- 色あい 色あいを-50～50の範囲で調整します。数値が低くなるごとに緑がかり、数値が高くなるごとに赤みがかります。
- 輪郭強調 投映された映像の鮮明度を5段階から選択します。数値が大きくなるに従い、映像の輪郭がはっきりします。
- アスペクト比..... 投映された映像のアスペクト比を自動もしくは4:3フルに切り替えます。自動認識が選択されている場合は、入力によって、アスペクト比を切り替えます。

**サブメニュー：映像信号選択（VIDEO入力時のみ有効）**

入力信号方式を選択します。

自動（自動的に信号方式を検出します）／ NTSC3.58 ／ NTSC4.43 ／ PAL B,G,H,I ／ PAL M ／ PAL N ／ SECAM



設置設定

プロジェクタ本体や、プロジェクタ使用時に関する設定を行います。

- ランプ使用時間..... ランプの使用時間が表示されます。
「ランプユニットの交換」 50ページ参照
- 入力信号 現在、選択されている入力の名前が表示されます。

設定項目

- キーストン（台形補正）..... 投映画面の台形補正を行います。

横キーストン
◀ ボタンを押すと、画面左部が狭くなります。

▶ ボタンを押すと、画面右部が狭くなります。

横キーストン補正機能で画面調整をした後、映像が長方形に補正できていないと感じられた場合、「4点補正」を選択してください。

【4点補正ボタン】

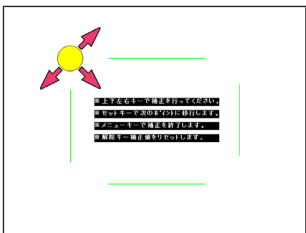
投映画面の各頂点をリモコンの方向キーで移動させることができます。

この点を移動させる

補正前 補正後

操作イメージ

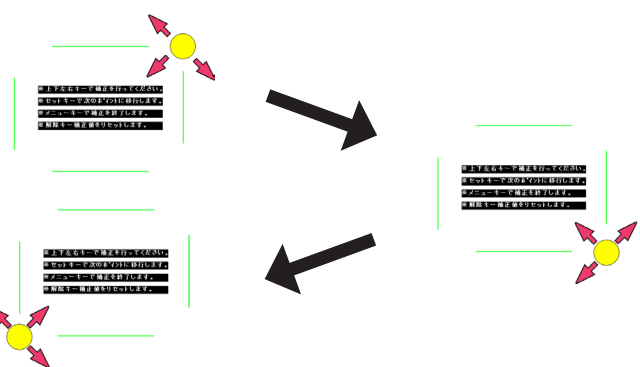
4点補正を選択すると、下図の画面が表示されます。
補正を行いたい頂点をリモコンのセットキーを押して、選択してください。
補正したい頂点が選択出来ましたら、リモコンの方向キーで補正度合いを調整してください。



【4点補正モード】



※自動縦キーストンは、通常ONで使用して下さい。
この機能では自動的にプロジェクタの傾きを検出し、
±15°の傾き範囲で台形補正を行います。
一度自動調整を行なうと、これ以降は約3°以上傾きに変化があるか、再起動したときに自動的に補正を行ないます。



次ページに続きます

お知らせ

- キーストン（台形補正）を行った場合、画面端の解像度が低下し、小さな文字などが見えにくくなります。解像度を落とさないときは、水平な台の上に設置し、キーストンメニューの数値を"0"（補正無し）に設定してください。
- キーストン（台形補正）は、画像処理を行っている関係で、処理を行わない場合に比べ表示画像（文字等）が多少にじんで表示されます。
- VGA解像度（640×480ドット）より小さい解像度を表示してキーストン（台形補正）をいっぱいかけると、映像の一部が欠ける場合があります。詳しくは23ページをご覧ください。
- キーストン（台形補正）は表示している映像信号により調整範囲が異なります。
- 自動調整が“ON”のときにキーストン（台形補正）のマニュアル調整を行うと、マニュアルでの調整が有効になりますが、自動調整の設定は“ON”のままです。

マニュアルでの調整後にプロジェクタ本体を大きく傾けたり、再起動するとマニュアルでの調整は無効になり、自動調整機能が有効になります。マニュアルでの調整結果を保持するには、マニュアルで調整した後、自動調整を“OFF”にしてください。

- 言語選択 メニューおよびメッセージの表示言語を日本語／英語／ドイツ語／フランス語／スペイン語／イタリア語／中国語／韓国語から選択します。



- 投映方式 プロジェクタの投映方式をフロント（正面投映）／リア（背面投映）から選択します。

- エコモード ON（エコモード）：
ランプの輝度が約83%になります。ランプ寿命がのびます。
OFF（ノーマルモード）：
ランプの輝度が100%になります。明るい画面になります。

- オートパワーオフ ONを選択した場合、PC・コンポーネントビデオ入力またはVIDEO入力時に「No Sync」の状態が15分間続くとランプを消灯します。



異常保護

本機には、異常による火災や故障を未然に防ぐために、保護回路が内蔵されています。

●ランプ/カバー LEDが赤色に点灯しているとき

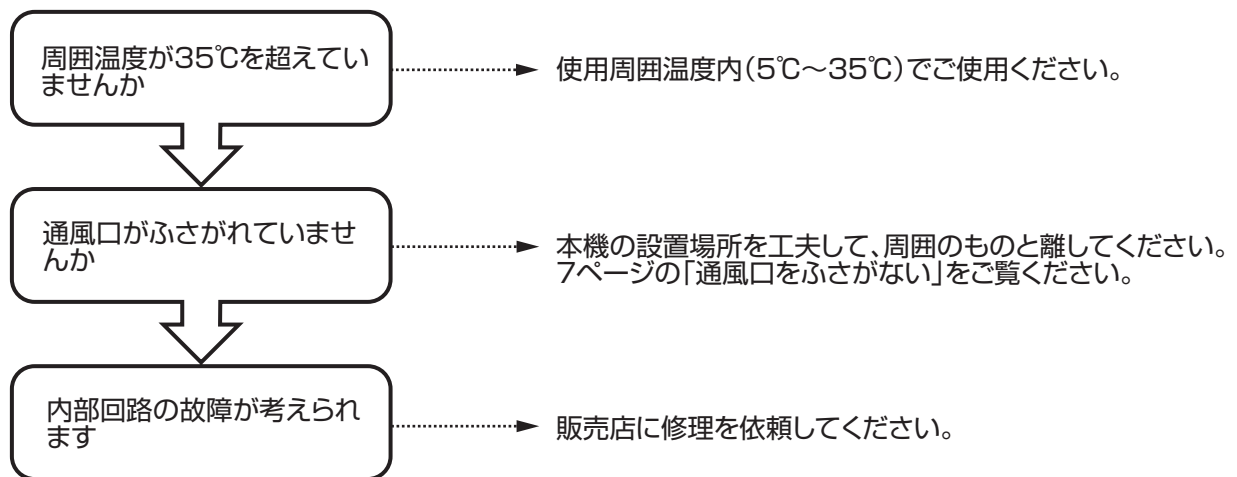
○処置

1. 電源プラグをコンセントから抜いてください。
2. ランプユニットカバーを正しく取り付けてください。48ページの「ランプユニットの交換」をご覧ください。

●温度LEDが赤色に点滅・点灯したとき

○処置

1. 電源プラグをコンセントから抜いてください。
2. 次のことを調べ、正しく対処してください。



※温度LEDが消えているときに、正しく動いている状態です。

※同時にランプ/カバーLEDが赤色に点灯している場合はランプを交換してください。

交換のしかたは48ページをご覧ください。

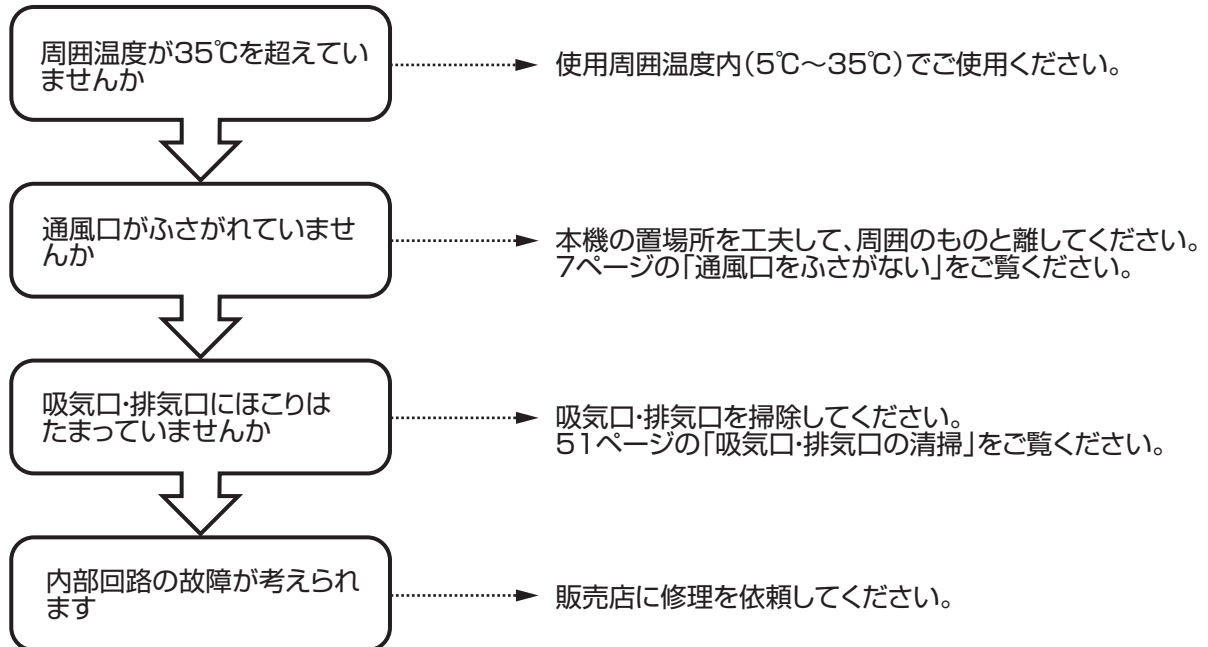
※温度LEDの点滅は温度異常の警告です。

点滅がはじまって10秒経過しても使用状況が変わらない場合、温度LEDは点灯にかわり、ランプは消灯します。

●電源が急に切れたとき（電源ONで全てのLEDが消灯しているとき）

○処置

1. 電源プラグをコンセントから抜いてください。
2. 次のことを調べ、正しく対処してください。



ランプユニットの交換

本機で使用している投映ランプの交換の目安は下記の通りです。(使用条件によっては早まる場合があります。)
使用時間が2000時間※を超えると破裂の確率が高くなるため、強制的にランプを消灯するようにしています。

ランプ使用時間が1900時間を超えた場合、2000時間に達するまでに、ランプユニット（別売品）の交換をしてください。

また、映像が暗くなったときもランプの寿命ですので新しいランプユニットに交換してください。

●「ランプ使用時間」が1900時間になったとき

プロジェクタの投映表示

ランプ使用時間が1900時間を超えると表示されます。

ランプ交換時間になりました。
ランプを交換してください。

本体の操作パネル

ランプ/カバー LED が赤色に点滅します。
ランプ使用時間は、「設置設定」メニュー内に表示され、確認することができます。

●「ランプ使用時間」が2000時間を超えたとき

プロジェクタの投映表示

ランプが点灯せず投映できなくなります。

本体の操作パネル

ランプ/カバー LED が赤色に点灯します。



※ メニュー画面で表示される「ランプ使用時間」はエコモードON時、OFF時両方の使用時間をエコモードOFF時の使用時間に換算した値を表示しています。

このため、いつもエコモードONで使用した場合、実際の使用時間では2900～3000時間がランプ交換の目安ですが、メニュー画面ではランプ使用時間が1900～2000時間でランプ交換時間の目安となります。

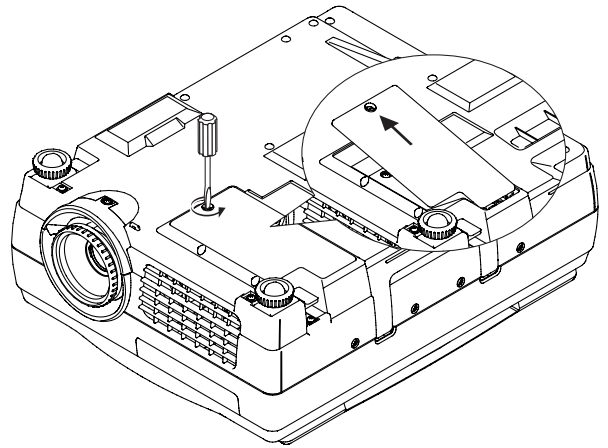
 警告	- 本機を使用した直後はランプユニットを交換しないでください。 ランプが高温になっているため、やけどをする恐れがあります。電源プラグをコンセントから抜き、1時間以上たってからランプを交換してください。 - ランプユニットのガラス部分に手を触れないでください。輝度が低下したり、ランプの寿命が短くなる恐れがあります。 - 本体内部にはランプやミラーなどのガラス部品を多数使用しています。万一、ガラス部品が割れたときは、破片でけがをしないように取り扱いには十分注意し、販売店または弊社カスタマサポートセンターに修理を依頼してください。
 注意	専用のランプキット（型名：IPLK-K1）をご指定ください。

●ランプユニットの交換手順

やけど防止の為、以下の手順はランプ消灯後、1時間以上たってから実施してください。

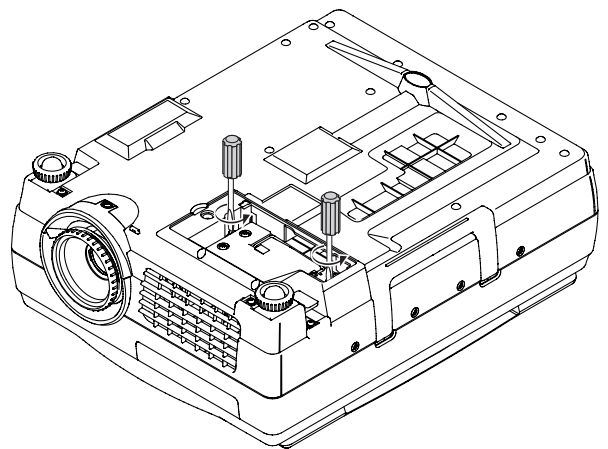
1 ランプユニットカバーを外す

マイナスドライバーを使用して、ランプユニットカバーのネジ（1本）をゆるめ、矢印方向に引いてカバーを外します。



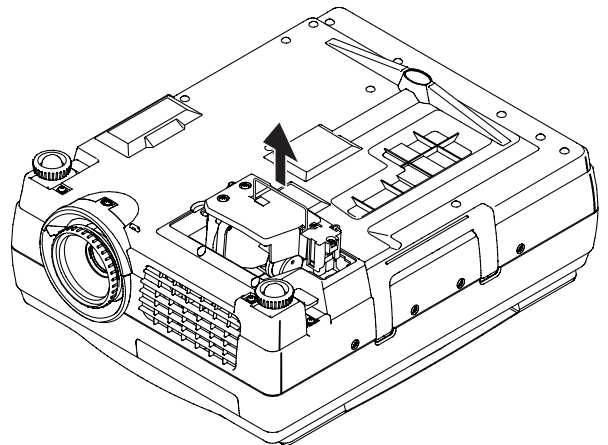
2 ランプユニットの取付ネジをゆるめる

マイナスドライバーを使用して、ランプユニットのネジ（2本）をゆるめます。



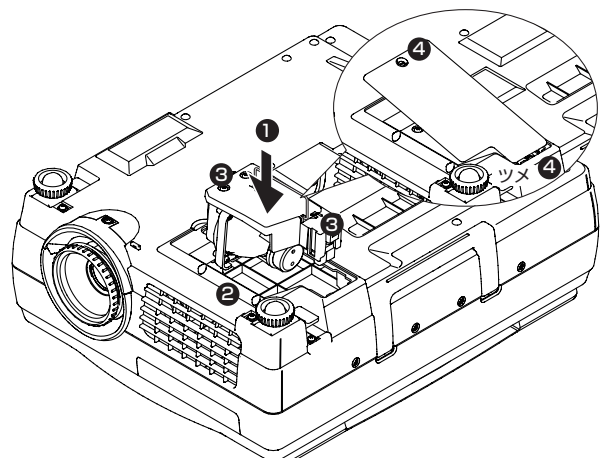
3 ランプユニットを引き抜く

ランプユニットの取手を持って、上に引き抜きます。



4 新しいランプユニットを取り付ける

- ① ランプユニットを持って中に押し込みます。
- ② ランプユニットの底面にある位置決め用の突起物（2ヶ所）が穴（2ヶ所）にしっかりとハマっていることを確認します。
- ③ ランプユニットの取付ネジ（2本）を締めます。
- ④ ランプユニットカバーにある2ヶ所のツメを本機に合わせツメ側より取り付けます。ランプユニットカバーの取付ネジを締めます。



5 ランプ使用時間をリセットする

以下に示す操作は**スタンバイ状態** ^(※)で行ってください。

【本体での操作】

入力切替、横⇄縦、解除、静止画の4つのボタンを同時に押し、次に入力切替ボタンと静止画ボタンを同時に押します。

【リモコンでの操作】

リモコンでのランプ使用時間リセットはできません。

その後、ランプ/カバー LED が緑色に点滅し、投映が開始されます。

(※) 電源プラグをコンセントにさし、オン/スタンバイLEDのみ赤色に点灯している状態。



注意

- ランプ交換せずにランプ使用時間をリセットしないでください。2000時間を越えて使用するとランプが破裂する確率が高くなります。

6 ランプ使用時間の表示が右図のように「0時間」になっていることを確認する

リセットされていない場合は再度ステップ5によりリセットしてください。

ランプ使用時間はリモコンのメニューボタンを押してメニューを表示させ、スクロール◀▶ボタンで設置設定を表示させることにより、確認してください。



注意

- リセットせずに使用すると、正しいランプ使用時間がわからなくなりますので、ランプ交換後には必ずリセットしてください。表示が2000時間を超えると、ランプの寿命にかかわらず強制的にランプを消灯するようにしています。

お知らせ

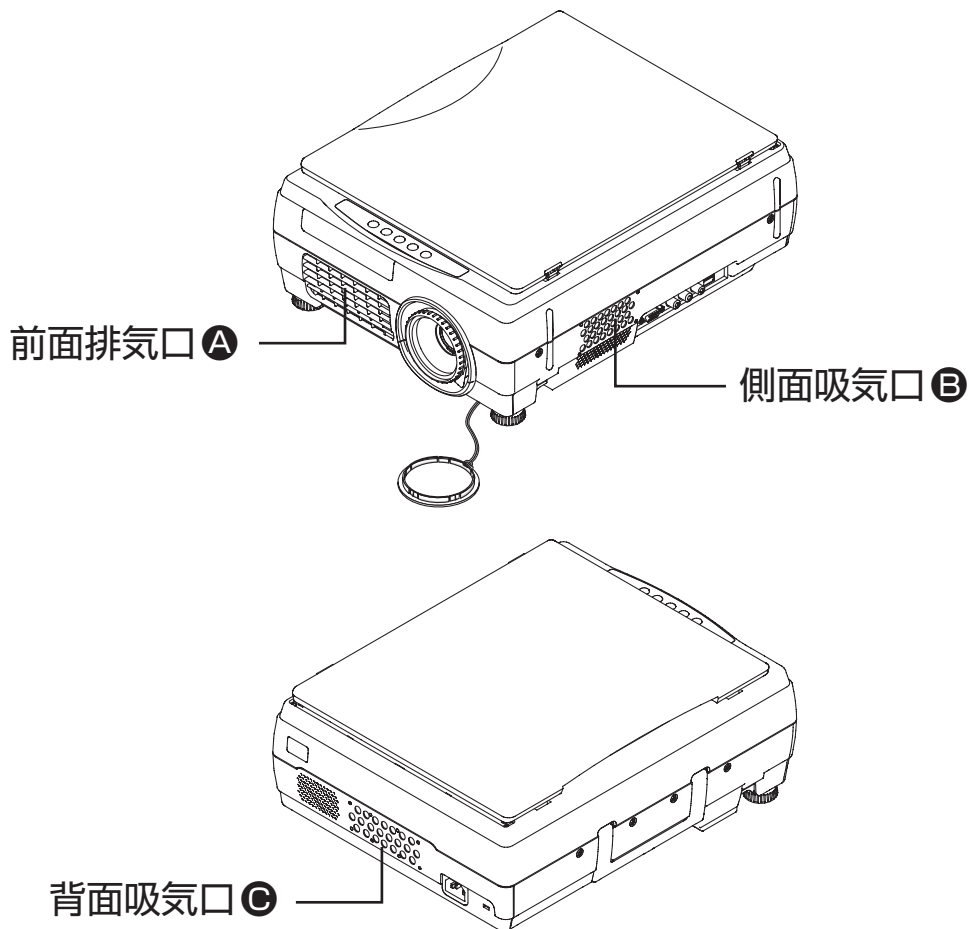
- 安全のため、ランプユニットカバーが装着されていないと、ランプが点灯しないようになっています。
- ランプユニットは一般家庭用の蛍光灯と同様に微量の水銀を含んでおりますので、廃棄については一般家庭用の蛍光灯と同分類とし各自治体の廃棄方法に従ってください。

吸気口／排気口の清掃

吸気口／排気口は、本機の内部の熱を冷却する空気の出入り口です。空気の流れによりご使用されるうちにほこりがたまる場合がございます。ほこりがたまりますと、内部の温度が上昇し、ファンの回転も上昇して寿命低下や故障の原因になりますので、定期的（1日4時間使用した場合、1ヶ月に1回程度）に清掃してください。

●吸気口／排気口の場所と清掃方法

下記三箇所をそれぞれ掃除機で吸ってください。



故障かな…と思ったら

故障かな？と思ったら修理を依頼される前に次のことをお調べください。

症状	ここをお調べください	参照ページ
電源が入らない	・ 電源コードが抜けていませんか。	25
投映ランプが点灯しない	・ ランプユニットカバーが装着されていますか。 ・ 内部温度が高くなっていますか。保護のためランプは点灯しません。 ・ ランプ使用時間が2000時間を越えていますか。	49 46 50
映像が出ない	・ 接続されている入力を選んでいますか。 ・ 接続機器のケーブルは正しく接続されていますか。 ・ 「映像調整」メニューの「明るさ」、「コントラスト」がマイナス側いっぱいに設定されていませんか。 ・ パソコン側の機能を調べてみましたか。	27 20, 24 42 22
映像が歪む	・ 正しく設置されていますか。 ・ キーストン（台形補正）を行っていませんか。	18 44
映像がぼける	・ フォーカスを合せてありますか。 ・ 投映距離がフォーカスの合う距離範囲に入っていますか。 ・ キーストン（台形補正）を行っていませんか。 ・ レンズキャップはついていませんか。	26 19 44 12
映像がちらつく	・ 「同期調整」メニューの「PHASE（フェーズ）」を調整してください。	42
映像がずれる	・ 「同期調整」メニューの設定は合っていますか。	42
映像がゆらぐ	・ 人の立ち位置や設置する環境（壁際や空調）によっては、前面から排気された熱風が陽炎となり、投映画像がゆらぐことがあります。	—
映像が動かない時	・ 一度電源コードを抜いて、2,3秒後に挿入しなおしてください。	—
色がずれる	・ 「同期調整」メニューの「PHASE（フェーズ）」を調整してください。	42
音がでない	・ 音量調整が最小に設定されていませんか。	33
キャビネットから「ビシッ」という音がする	・ 温度の変化により、キャビネットがわずかに伸縮する音です。 性能その他に影響はありません。	—
リモコンが動作しない	・ 電池がきれていませんか。または消耗していませんか。 ・ リモコン受光部に照明などの光が当たっていませんか。 ・ 本機のリモコン受光部がふさがれていませんか。 ・ インバータ機器が近くにありませんか。	7, 17 17 17 17
パソコン入力選択時、映像の位置がずれる、または圧縮表示される	・ 「同期調整」メニューで調整してください。	42
「フォーマットされていないUSBメモリー」と表示される	・ 一度USBメモリーを抜き、2,3秒後に挿入しなおしてみてください。 改善されない場合は、PCにてFAT32形式で、フォーマットを行ってください。その後、再びUSBメモリーを挿入しなおしてみてください。	40 14
USBメモリーに正常にアクセスできない	・ USBメモリーが壊れていませんか。 他の機器でご使用できるか確認して下さい。 (全てのUSBメモリーの動作を保証するものではありません)	—
温度LEDが赤色に点灯する	・ 「異常保護の処置」のページに従ってください。	46
ランプ/カバーLEDが赤色に点灯する	・ ランプユニットカバーが外れていませんか。 ・ ランプ使用時間が2000時間を越えていますか。	49 50
ランプ/カバーLEDが橙色に点灯する	・ 装置の内部異常です。カスタマーサポートセンターにお問い合わせください。 ・ 内部部品に異常があるため修理を依頼してください。	53
USBメモリーに保存したデータが閲覧できない	・ 一度USBメモリーを抜き、2, 3秒後に挿入しなおしてみてください。改善されない場合は、USBメモリーを確認してください。	—
リモコンや、本体のキーパネルの操作が利かない。	・ 一度電源コードを抜いて、2,3秒後に挿入しなおしてください。	—

お知らせ その他の情報については、弊社ホームページをご覧ください。(http://www.avio.co.jp)

LED一覧表

LED 状態			お知らせ内容	
オン/スタンバイ	ランプ/カバー	温度		
消灯	消灯	消灯	AC電源OFF	正常な状態
赤	消灯	消灯	スタンバイ	
緑	緑点滅	消灯	スタンバイ～投映開始 投映終了～スタンバイ	
緑	緑	消灯	投映中	
赤	赤	消灯	ランプカバーオープン	アラームにより電源をOFFした状態
赤	赤点滅	消灯	ランプ失灯	
赤	赤点滅	消灯	ランプ使用2000時間超過	
赤	消灯	赤	温度異常 ファン異常	
緑	赤点滅	消灯	ランプ使用1900時間超過	アラーム警告中
緑	緑	赤点滅	温度異常警告	

保証と修理サービス

より長くご利用いただくために

- ・ 一年に一度を目処に、内部の掃除を販売店などにご相談ください。
また、吸気口／排気口の清掃を、定期的に行っていただけますようお願いいたします。清掃手順につきましては、本書 P.51 をご参照ください。

保証について

- ・ 10 日以内に、インターネット、FAX いずれかの方法でユーザー登録をお願いします。本書の裏表紙に、FAX 用のユーザ登録書が印刷されています。ご登録後、正式な保証書を送付いたします。保証書をお手許にお届けするのに約 2 週間ほどお時間がかかります。それまでは仮保証書（P.55）が保証書となりますので、所定の箇所にご記入いただきまして、大切に保管してください。
- ※ 保証書、または仮保証書がない場合、保証期間中でも有料修理になる可能性があります。

保証期間

- ・ 保証期間はご購入いただいた日から 1 年間です。但し、ランプユニットなどの消耗品は除きます。
- ・ 保証期間内であっても有料修理になることがありますので取扱説明書の「保証規定」をよくお読みください。

修理サービス

- ・ 保証期間中は、保証規定にしたがい修理させていただきますので、販売店にご依頼ください。
なお、ご依頼の際は保証書をご提示ください。
- ・ 保証期間経過後の修理については販売店にご相談ください。
修理によって機能が維持できる場合は有料にて修理いたします。
- ・ 修理を依頼される前にもう一度 52 ページの「故障かな…と思ったら」にしたがってチェックしていただき、なお異常があるときは販売店にご相談ください。
- ・ 修理を依頼されるとき次のことをお知らせください。

故障の状態（できるだけ詳しく）

ご購入年月日

お名前

ご住所

電話番号

品名・型名（商品底面のラベルに記載してあります）

製造番号

修理料金の仕組み

- ・ 基本診断料 故障の内容の再現確認と、故障箇所を診断する為の料金です。
技術者の人件費、技術教育費、測定機器など設備費、一般管理費が含まれます。
- ・ 修理費 故障した製品を正常に修復するための料金です。
作業者の人件費が含まれています。
- ・ 部品費 修理に使用した部品代金です。
- ・ 梱包輸送費 製品をお引取り・ご返却する場合の料金です。
(修理品の輸送料金です。)

補修用性能部品の保有期間について

この商品の主要な補修用性能部品^(※)の保有期間は、製造終了後 5 年間です。

なお、修理に際しては弊社で定める補修用性能部品単位の交換を基本と致します。

また、消耗品（別売）の販売終了時期については弊社担当営業又は販売代理店にお問い合わせください。

（※）性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

故障・修理のお問い合わせは

日本アビオニクス株式会社 映像・情報福祉機器事業部 カスタマーサポートセンター

TEL 0120-175411（フリーダイヤル）

FAX 045-930-3585

mailto: support_ip@avio.co.jp

受付時間は、月曜日～金曜日までの 9：00 a.m. ～ 12：00 p.m. / 1：00 p.m. ～ 5：00 p.m.

土、日、祝日および年末年始を除きます。

保証規定

◆本製品は当社の厳密な製品検査に合格したものです。保証期間（お買上月日から 1 年間）内に正常なご使用状態で、万一故障した場合は無償で修理させていただきます。

◆保証期間中でも次の場合は有償で修理させていただきます。

- 1.保証書に保証期間が記載されていない場合
- 2.使用上の誤りおよび当社以外の者による改造、修理に起因する故障、損傷の場合
- 3.輸送、移動時の落下等、お取扱いが適当でないために生じた故障、損傷の場合
- 4.火災、塩害、ガス害、異常電圧および地震、雷、風水害その他の天災地変等による故障、損傷の場合
- 5.当社の定める標準製品以外の機器を接続し、当該機器に起因して本製品に故障を生じた場合
- 6.説明書記載方法および注意に反するお取扱いによって生じた故障の場合
- 7.保証書をご提示されない場合
- 8.保証書の所定事項が未記入の場合および字句を訂正された場合

本製品に生じた故障に関し、当社は保証書に基づく無償修理以外の責任を負いません。

保証書は国内で使用される場合だけ有効です。

This warranty shall be valid in Japan.

仮 保 証 書

正式保証書をお手元にお届けするまでは、仮保証書（本書）が保証書になりますので大切に保管してください。

本書は、以下の保証規定に基づき、保証期間内修理を行うことをお約束するものです。
お買い上げの日から下記期間中に故障が発生した場合は、修理をお申しつけください。

保証規定

◆本製品は当社の厳密な製品検査に合格したものです。保証期間（お買上月日から1年間）内に正常なご使用状態で、万一故障した場合は無償で修理させていただきます。

◆保証期間中でも次の場合は有償で修理させていただきます。

1. 仮保証書に保証期間が記載されていない場合
2. 使用上の誤りおよび当社以外の者による改造、修理に起因する故障、損傷の場合
3. 輸送、移動時の落下等、お取扱いが適当でないために生じた故障、損傷の場合
4. 火災、塩害、ガス害、異常電圧および地震、雷、風水害その他の天災地変等による故障、損傷の場合
5. 当社の定める標準製品以外の機器を接続し、当該機器に起因して本製品に故障を生じた場合
6. 説明書記載方法および注意に反するお取扱いによって生じた故障の場合
7. 仮保証書をご提示されない場合
8. 仮保証書の所定事項が未記入の場合および字句を訂正された場合

◆本製品に生じた故障に関し、当社は仮保証書に基づく無償修理以外の責任を負いません。

◆本仮保証書は国内で使用される場合だけ有効です。

◆本仮保証書は再発行いたしませんので、大切に保管してください。

品 名	インテリジェントプロジェクト		型 名	
製造番号	本体に添付のシリアルナンバーをお貼りください。		保証期間	お買い上げ日 年 月 日より1年間
お 客 様	〒		販 売 店	販売店名・住所・電話番号 印
	ご住所			
	電 話	() -		
	FAX	() -		
	会社名 部署名 ご氏名	 		
		様		

■お客様へ

商品の型名・製造番号が記載もれの場合、保証期間内でも無償修理が受けられない場合がございますため、もれなくご記入ください。
法人様でご購入された場合は会社名・部署名、ご担当者のご氏名を、
個人でご購入された場合はご氏名をご記入ください。

■販売店様へ

お客様にお渡しする際は必ず販売日をお買い上げ日に記入し、貴社名／住所／電話番号をご記入ご捺印ください。



日本アビオニクス株式会社

〒224-0053 横浜市都筑区池辺町4206番地
映像・情報福祉機器事業部

仕様

型名			iP-03U
方式			単板DLP®カラーホイール色分離方式
主要部品仕様	DLP®チップ	サイズ	0.7型 DLP®チップ×1 (枚) アスペクト比4：3
		画素数	786,432画素 (1024×768ドット)
	投射レンズ		F2.6～2.9 f=25.8～30.0mm ズーム比 1.16
	光源		280W超高压水銀ランプ
画面サイズ			最小33～最大300型 (投射距離 1.3m～11m)
色再現性			フルカラー (1,677万色)
明るさ			3500ルーメン
対応走査周波数 (アナログRGB)			水平24.8～91.1kHz、垂直50～85Hz
表示可能解像度		RGB信号入力時	1024ドット×768ドット (1600×1200ドット圧縮表示可能)
映像入力	OHP (実物投射部)	読取機器	315万画素カラー CMOS
		読取サイズ	288mm×216mm (A4相当)
	パソコン (アナログRGB入力)	信号方式	セパレート信号方式
		映像信号	アナログ：0.7Vp-p / 75Ω
		同期信号	セパレート／コンポジット：TTLレベル (正／負) シンクオングリーン：0.3Vp-p (負)
	ビデオ入力	入力端子	ミニD-SUB 15ピン×1
		信号方式	NTSC / PAL / SECAM
	コンポーネント ビデオ入力*1	入力端子	RCAピンジャック×1
		信号方式	Y：1.0Vp-p/75Ω (with sync)、Cb・Cr：0.7Vp-p/75Ω D1/D2/D3/D4
	音声入力	PC / ビデオ / コンポーネント ビデオ	入力端子
音声信号			0.4Vrms / 47kΩ
入力端子			RCA (L/R) ピンジャック×1
画像ファイル形式			JPEG (2048×1536ドット)
メモリーインターフェース			USBメモリー *2 ×1スロット (USB2.0)
音声出力			5W モノラルスピーカー
使用温湿度範囲			温度5～35℃、湿度20～80% (但し、結露なきこと)
電源			AC100V±10% 50 / 60Hz
消費電力			400W
待機電力			0.5W以下
USBバスパワー			500mA
外形寸法 (mm)			290(W)×365(D)×140(H) (突起部含まず、資料カバー含む)
質量			約5kg
添付品			電源ケーブル (2m)、リモコン、取扱説明書、コイン型リチウム電池CR2025 (リモコンに内蔵)、PC接続ケーブル (2m)、レンズキャップ、USBメモリー
オプション			D端子・RGB変換ケーブル (型名：IPC-D/VGA)

*1 オプション品のD端子・RGB変換ケーブルが必要となります。

*2 動作確認済USBメモリーは、当社ホームページをご参照ください。

<http://www.avio.co.jp/>

USBメモリーの初期化 (フォーマット) は必ず、FAT32で行ってください。

記録枚数が多いと、保存/再生スピードが遅くなる場合があります。

- 仕様、意匠は改良のため予告なしに変更することがあります。
- 本製品 (ソフトウェアを含む) は日本国内仕様であり、外国の規格等には適合しておりません。
- 本製品を日本国外で使用された場合、当社は一切の責任を負いかねます。

This product (including software) is designed for use in Japan only and not for use in any other country.

この装置は、クラス A 情報技術装置です。この装置を家庭環境で使用すると電波妨害を引き起こすことがあります。
この場合には使用者が適切な対策を講ずるよう要求されることがあります。 VCCI-A

- (1) 本書の内容の一部または全部を無断転載することは禁止されています。
- (2) 本書の内容に関しては将来予告なしに変更することがあります。
- (3) 本書は内容について万全を期して作成いたしましたが、万一ご不審な点や誤り、記載もれなどお気づきのことがありましたらご連絡ください。
- (4) 本機の使用を理由とする損害、逸失利益等の請求につきましては、当社では(3) 項にかかわらず、いかなる責任も負いかねますので、あらかじめご了承ください。
- (5) 乱丁、落丁はお取り替えいたします。

商標について
IBM は、International Business Machines Corporation の商標または登録商標です。
Macintosh, Power Book は、Apple Computer Inc. の登録商標です。
Windows は米国マイクロソフト社の商標です。
DLP® および DLP ロゴはテキサス・インスツルメンツの登録商標です。

ユーザー登録のご案内

迅速かつ正確なサポートを実施するために、ユーザ登録をお願いしております。

ユーザ登録により正式保証書を発行致します。

正式保証書により、ご購入後 1 年間の保証が受けられます。

インターネットもしくはファックスにて是非登録してください。

インターネットで！ 下記登録サイトにアクセスして登録してください。

◎ ファックスによるお申し込みより、スピーディーに正式保証が受けられます。

https://www.avio.co.jp/support/regist_mp.htm

ファックスで！

- ① ファックスの場合は本書、裏表紙に必要な事項をご記入ください。
- ② 下記番号へ FAX してください。

ユーザ登録／保守契約申込FAX番号 045-930-3585

- 上記のファックス番号でのご質問は受け付けておりません。ご質問は 0120-175411 までお願いします。
- 記入事項が正確でない場合や記入漏れがある場合、ご連絡できないまま登録できない場合があります。よくご確認の上お送りください。
2 週間以上経過しても連絡が無い場合は、お手数ですが 0120-175411 までご連絡ください。
- ユーザ登録完了のご連絡は正式保証書の発行をもって換えさせていただきます。

● 個人情報の取扱について

お申し込みにあたっては以下の内容をお読みになり、ご同意くださいますようお願い申し上げます。

■ 個人情報の利用目的について

ご入力いただいた個人情報の利用目的は、次のとおりです。

- ・ お客様からのお問い合わせへの対応
- ・ お客様に対するアフターサービスの提供
- ・ 製品、サービス、催物開催のに関するご案内やカタログ、チラシ等印刷物の送付
(ご案内を希望されない場合を除く)
- ・ 製品、サービス等の企画、開発等

■ 個人情報の提供について

ご入力いただいた個人情報は、上記利用目的の達成に必要な範囲で日本アビオニクスのグループ会社に対し提供することがあります。

なお、当該個人情報の管理について責任を有する者は当社です。

■ 個人情報の取扱いの委託について

ご入力いただいた個人情報の取扱いの全部または一部を上記利用目的の達成に必要な範囲において委託することがあります。

なお、委託する場合は秘密保持契約等を締結し、個人情報の適切な管理を行ないます。

■ 個人情報の開示等およびお問い合わせ窓口について

お客様ご自身の個人情報に関する照会や、訂正、追加または削除については、お客様ご本人からご連絡いただくことにより、対応いたします。下記の窓口までご連絡ください。

日本アビオニクス株式会社個人情報保護窓口

電話：03-5436-0658 e-mail：privacy@avio.co.jp

〒141-0031 品川区西五反田8-1-5 五反田光和ビル